

(様式第 10)

信大病総第 9108 号
令和元

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人信州大学長 濱田 州

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号
氏 名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

信州大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号	電話 (0263) 35-4600
--------------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科	4腎臓内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科	
診療実績			
呼吸器・感染症・アレルギー内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 <input checked="" type="checkbox"/> 1呼吸器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 2消化器外科 <input checked="" type="checkbox"/> 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 6心臓血管外科 <input checked="" type="checkbox"/> 7内分泌外科 <input checked="" type="checkbox"/> 8小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="checkbox"/> 1精神科 <input checked="" type="checkbox"/> 2小児科 <input checked="" type="checkbox"/> 3整形外科 <input checked="" type="checkbox"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="checkbox"/> 5皮膚科 <input checked="" type="checkbox"/> 6泌尿器科 <input checked="" type="checkbox"/> 7産婦人科 8産科 9婦人科 <input checked="" type="checkbox"/> 10眼科 <input checked="" type="checkbox"/> 11耳鼻咽喉科 <input checked="" type="checkbox"/> 12放射線科 13放射線診断科 14放射線治療科 <input checked="" type="checkbox"/> 15麻酔科 <input checked="" type="checkbox"/> 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 <input checked="" type="checkbox"/> 3口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科 2 形成外科 3 リハビリテーション科 4 病理診断科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	床	床	床	677床	717床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

医 師	282 人	198.5人	480.5人	看護補助者	35 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	11 人	6.9 人	17.9 人	理学療法士	16 人	臨床検査技師	67 人
薬剤師	45 人	0 人	45.0 人	作業療法士	13 人	衛生検査技師	0人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	8 人	その他	0人
助産師	77 人	0.8 人	77.8 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	746 人	7.0 人	753.0 人	臨床工学士	18 人	医療社会事業従事者	14 人
准看護師	1 人	0 人	1.0 人	栄養士	0 人	その他の技術員	49 人
歯科衛生士	5 人	0 人	5.0 人	歯科技工士	2 人	事務職員	194 人
管理栄養士	7 人	0.8 人	7.8 人	診療放射線技師	41 人	その他の職員	19 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	51人	眼科専門医	11人
外科専門医	35人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	11人	放射線科専門医	40人
小児科専門医	33人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	16人	整形外科専門医	25人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	14人
産婦人科専門医	12人	救急科専門医	16人
		合計	295人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (本田 孝行) 任命年月日 平成 29 年 4 月 1 日

所属部門である臨床検査部内に設置の精度管理委員会において、安全管理に関わる業務を担当。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	538.2人	9.2人	547.4人
1日当たり平均外来患者数	1374.6人	64.9人	1439.6人
1日当たり平均調剤数	970 剤		
必要医師数	137 人		
必要歯科医師数	2 人		
必要薬剤師数	19 人		
必要(准)看護師数	322 人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要		
集中治療室	645 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 357 m ² [移動式の場合] 台数 6 台		病床数	28 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 116 m ² [共用室の場合] 共用する室名 服薬指導室					
化学検査室	508 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動マイクロプレートEIA分析装置			
細菌検査室	128 m ²	〃	(主な設備) Anoxomat Mark II (細菌診断装置)			
病理検査室	232 m ²	〃	(主な設備) 凍結組織切片作製装置			
病理解剖室	145 m ²	〃	(主な設備) 写真撮影器具			
研究室	241 m ²	〃	(主な設備) なし			
講義室	949 m ²	〃	室数	10 室	収容定員	404 人
図書室	88 m ²	〃	室数	1 室	蔵書数	6,500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	86.9%	逆紹介率	68.2%
算出根拠	A: 紹介患者の数			12,133人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			11,261人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			2,231人
	D: 初診の患者の数			17,561人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人 財団慈泉会相 澤病院 院長	○	医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
林 一樹	林一樹法律事 務所 弁護士		法律に関する 識見を有する者	無	1
池田 秀敏	信州大学 経法学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
根本 三代子			医療を受ける者	無	2
田中 榮司	信州大学 医学部長		医療に関する 学識経験者	有	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 信州大学医学部附属病院のホームページ上で公開している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
神経変性疾患の遺伝子診断	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺癌(扁平上皮肺癌及び小細胞肺癌を除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法	0人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は治療後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡くて小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			
医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	血管奇形に対する画像誘導下経皮的硬化療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 皮膚や筋肉、軟部組織における血管奇形に対して、CT等下に病変を穿刺。硬化剤として無水エタノールを注入する治療である。			
医療技術名	心筋症に対する補助人工心臓	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 心筋症における末期心不全において補助人工心臓を用いて補助を行う。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	取扱患者数	72人
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	人工尿道括約筋埋込術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 前立腺癌術後の尿失禁に対する新しいdeviceを使用した手術			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術、脊髄・脊椎手術では、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡下に経胃的に膵嚢胞を穿刺し、ドレナージチューブを留置する。			
医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	76人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	結合織疾患の次世代シーケンズ解析	取扱患者数	82人
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用い、結合織疾患(マルファン症候群, エーラーズ・ダンロス症候群等)患者を対象に、54種の遺伝子を解析している。			
医療技術名	知的障害の次世代シーケンズ解析	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 知的障害患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、知的障害関連の80種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	デスマプレッシン点鼻療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			

D4ST欠損を伴うエーラスダンロス症候群患者の巨大皮下血腫に対して、デスモプレッシン点鼻療法を行い、良好な経過を導き出している。

医療技術名	てんかんの次世代シーケンス解析	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 てんかんの遺伝子解析を行っている			
医療技術名	フローダイバーター(パイプライン)留置術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 大型かつ広額の脳動脈瘤に対して行う治療法である。コイルを用いないので、動脈瘤の縮小が期待できる。			
医療技術名	難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 癌腹膜播種や肝硬変などに伴う難治性腹水症に対し、当院では独自の手法による腹水濾過濃縮再静注法(DC-CART)を行っている。この方法により腹水の全量排液、効率の良い蛋白回収率、低い合併症を実現している。			
医療技術名	難治性自己免疫疾患に対する血漿交換療法	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要 難治性自己免疫疾患に対し、疾患特性や患者の全身状態を考慮し様々な種類の血漿交換(単純血漿交換、二重膜濾過血漿交換、血漿吸着療法)を選択し行っている。			
医療技術名	集中治療における持続血液濾過透析とエンドトキシン吸着療法	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 集中治療室における循環動態の不安定な患者に対して持続血液濾過透析やエンドトキシン吸着療法を行っている。			
医療技術名	腎移植	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 末期腎不全患者に対し、生体および献腎移植を行っている			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	72
2	筋萎縮性側索硬化症	20	57	特発性拡張型心筋症	70
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	肥大型心筋症	26
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	10	60	再生不良性貧血	27
6	パーキンソン病	109	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンテントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	17
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリエ・トウース病	2	65	原発性免疫不全症候群	14
11	重症筋無力症	67	66	IgA 腎症	19
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	18
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	62	68	黄色靱帯骨化症	13
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	31	69	後縦靱帯骨化症	48
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	11
16	クロー・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	50
17	多系統萎縮症	17	72	下垂体性ADH分泌異常症	9
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	78	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライゾソーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	7
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	4
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	22	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	30
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	70
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	2	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	156	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	65
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	55
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	25
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	22
34	神経線維腫症	33	89	リンパ脈管筋腫症	4
35	天疱瘡	7	90	網膜色素変性症	18
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	53
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	16	95	自己免疫性肝炎	5
41	巨細胞性動脈炎	3	96	クローン病	67
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	114
43	顕微鏡的多発血管炎	28	98	好酸球性消化管疾患	5
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	7	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	4	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	7	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	234	104	コストロ症候群	1
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	103	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	67	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	46	107	全身型若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	17	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人ステル病	11	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4
113	筋ジストロフィー	12	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	4	167	マルファン症候群	18
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	13
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシビタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	2
122	脳表ヘモジドリン沈着症	2	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	1
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	1	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	3
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	2
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

患者数	疾患名	患者数	疾患名	患者数
0	左心低形成症候群	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
3	三尖弁閉鎖症	260	シトステロール血症	0
3	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	261	タンジール病	0
3	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	262	原発性高カイロミクロン血症	0
7	ファロー四徴症	263	脳腫黄色腫症	3
4	両大血管右室起始症	264	無βリポタンパク血症	0
4	エプスタイン病	265	脂肪萎縮症	0
1	アルポート症候群	266	家族性地中海熱	8
0	ギャロウェイ・モワト症候群	267	高IgD症候群	0
5	急速進行性糸球体腎炎	268	中條・西村症候群	0
1	抗糸球体基底膜腎炎	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
15	一次性ネフローゼ症候群	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
1	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	271	強直性脊椎炎	9
4	紫斑病性腎炎	272	進行性骨化性線維異形成症	0
0	先天性腎性尿崩症	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
4	間質性膀胱炎(ハンナ型)	274	骨形成不全症	3
8	オスラー病	275	タナトフォリック骨異形成症	0
0	閉塞性細気管支炎	276	軟骨無形成症	0
0	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
0	肺胞低換気症候群	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
0	α1-アンチトリプシン欠乏症	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
0	カーニー複合	280	巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
0	ウォルフラム症候群	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
0	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
0	副甲状腺機能低下症	283	後天性赤芽球癆	2
1	偽性副甲状腺機能低下症	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	1
0	副腎皮質刺激ホルモン不応症	285	ファンconi貧血	0
2	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
0	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	287	エプスタイン症候群	0
0	フェニルケトン尿症	288	自己免疫性出血病XIII	5
0	高チロシン血症1型	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
0	高チロシン血症2型	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
0	高チロシン血症3型	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
0	メーブルシロップ尿症	292	総排泄腔外反症	0
0	プロピオン酸血症	293	総排泄腔遺残	0
0	メチルマロン酸血症	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
0	イソ吉草酸血症	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
0	グルコーストランスポーター1欠損症	296	胆道閉鎖症	4
0	グルタル酸血症1型	297	アラジール症候群	1
0	グルタル酸血症2型	298	遺伝性膀胱炎	0
0	尿素サイクル異常症	299	嚢胞性線維症	0
0	リジン尿性蛋白不耐症	300	IgG4関連疾患	14
0	先天性葉酸吸収不全	301	黄斑ジストロフィー	0
1	ポルフィリン症	302	レーベル遺伝性視神経症	0
0	複合カルボキシラーゼ欠損症	303	アッシャー症候群	0
0	筋型糖原病	304	若年発症型両側性感音難聴	1
0	肝型糖原病	305	遅発性内リンパ水腫	0
0	ガラクトースー1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	306	好酸球性副鼻腔炎	31

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症	5	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算2(200床以上)
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算2
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1、 精神病棟10対1)	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・診療録管理体制加算2	・救命救急入院料2、3
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・特定集中治療室管理料1
・急性期看護補助体制加算(25対1、看護補助 者5割未満)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1)	・新生児特定集中治療室管理料1
・療養環境加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・重症者等療養環境特別加算	・小児入院医療管理料2
・無菌治療室管理加算1、2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携 加算含む)	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・後発医薬品使用体制加算2	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・糖尿病合併症管理料	・自己生体組織接着剤作成術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・外来緩和ケア管理料	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・移植後患者指導管理料(臓器移植後、造血幹細胞移植後)	・歯周組織再生誘導手術
・糖尿病透析予防指導管理料	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・麻酔管理料(I)
・院内トリアージ実施料	・麻酔管理料(II)
・外来放射線照射診療料	・放射線治療専任加算
・ニコチン依存症管理料	・外来放射線治療加算
・療養・就労両立支援指導料	・検体検査管理加算(I)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・検体検査管理加算(IV)
・がん治療連携計画策定料	・国際標準検査管理加算
・排尿自立指導料	・遺伝カウンセリング加算
・肝炎インターフェロン治療計画料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・薬剤管理指導料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・胎児心エコー法
・医療機器安全管理料1	・ヘッドアップティルト試験
・医療機器安全管理料2	・人工臓器検査
・医療機器安全管理料(歯科)	・皮下連続式グルコース測定
・総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	・神経学的検査
・歯科治療時医療管理料	・補聴器適合検査
・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)	・ロービジョン検査判断料
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・持続血糖測定器加算	・内服・点滴誘発試験
・遺伝学的検査	・センチネルリンパ節生検(片側)

・骨髄微小残存病変変量測定	・CT透視下気管支鏡検査加算
・抗HLA抗体検査(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・精密触覚機能検査
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・画像診断管理加算1
・無菌製剤処理料	・画像診断管理加算2
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・画像診断管理加算3
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・運動器リハビリテーション料(I)	・CT撮影及びMRI撮影
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・冠動脈CT撮影加算
・がん患者リハビリテーション料	・外傷全身CT加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・心臓MRI撮影加算
・リンパ浮腫複合的治療料	・小児鎮静下MRI撮影加算
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・頭部MRI撮影加算
・精神科作業療法	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・外来化学療法加算1
・医療保護入院等診療料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・網膜再建術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・透析液水質確保加算	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・慢性維持透析濾過加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・人工脾臓療法	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・CAD/CAM冠	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・皮膚移植術(死体)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)

・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)) (同種骨移植(特殊なものに限る。))	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・磁気ナビゲーション加算
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)、及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・生体部分肝移植術	・補助人工心臓
・同種死体肝移植術	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・体外衝撃波膵石破碎術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術、腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・体外衝撃波胆石破碎術
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・1回線量増加加算
・同種死体腎移植術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・生体腎移植術	・画像誘導放射線治療加算
・膀胱水圧拡張術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療
・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・人工尿道括約筋植込・置換術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・デジタル病理画像による病理診断
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・病理診断管理加算2
・輸血管管理料 I	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・貯血式自己血輸血管管理体制加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・コーディネート体制充実加算	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査 進行再発固形がん(切除が困難で進行性のもの又は治療後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回の検討会…7件 2ヶ月に1回の検討会…2件
剖 検 の 状 況	剖検症例数 21 例 / 剖検率 6.7%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト遺伝性難聴を切り口とする、聴覚生理の網羅的解析	北尻 真一郎	耳鼻いんこう科	4,020,000	補委 日本学術振興会
組織幹細胞を用いた胆汁ドレナージシステムを有する肝様組織構築と術後肝不全への応用	酒井 宏司	外科(1)	0	補委 日本学術振興会
骨に剛性が近く、かつ優れた骨形成能をもつ頸椎疾患治療用インプラント器材の開発	伊東 清志	脳神経外科	0	補委 日本学術振興会
先天性側弯症発症におけるAGBL5遺伝子の作用機序解析	中村 幸男	整形外科	650,000	補委 日本学術振興会
局所麻酔薬の神経毒性のメカニズム:ナノ磁性体を用いた探索研究	石田 高志	麻酔科蘇生科	0	補委 日本学術振興会
ヒト胎児肝における薬物代謝酵素の糖質コルチコイド応答性の差異に関わる機序の解明	大森 栄	薬剤部	1,100,000	補委 日本学術振興会
プレガバリンの注腸投与の効果	間宮 敬子	信州がんセンター	1,560,000	補委 日本学術振興会
小児脳腫瘍特異的細胞傷害性T細胞にキメラ抗原受容体に応用した新規治療戦略の確立	柳沢 龍	輸血部	1,430,000	補委 日本学術振興会
ヒト膵島移植における分離後膵島のβ細胞評価	三田 篤義	集中治療部	1,490,000	補委 日本学術振興会
乳管上皮細胞の癌化のマーカーとしての5hmcの解析	伊藤 勅子	外科(2)	910,000	補委 日本学術振興会
くも膜下出血後の早期脳障害における脳細動脈の機能障害の解明と改善	村田 貴弘	脳神経外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨髄および脂肪由来細胞を用いた尿道括約筋様構造体による機能的尿道括約筋の再生	中沢 昌樹	泌尿器科	1,260,000	補委 日本学術振興会
アクアポリンの尿路上皮発現と病態別尿路上皮の形態的機能的変化の解析	永井 崇	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会
全身性アミロイドーシスの治療後の長期にわたる心機能変化と予後に与える影響の評価	小山 潤	循環器内科	1,520,000	補委 日本学術振興会
小児白血病治療を目指したGM-CSF受容体特異的キメラ抗原受容体T細胞の最適化	中野 茂	小児科	1,460,000	補委 日本学術振興会
慢性肉芽腫症における肉芽腫形成の機序の解明と新規治療薬の開発	重村 倫成	小児科	1,950,000	補委 日本学術振興会
造血微小環境に着目した若年性骨髄単球性白血病の新規治療法の開発	坂下 一夫	小児科	1,460,000	補委 日本学術振興会
環境因子によるアトピー性皮膚炎発症機構の解明と新規治療の探索	小川 英作	皮膚科	1,200,000	補委 日本学術振興会
ALPPS手術後肝再生促進因子の同定と機能解析	清水 明	外科(1)	550,000	補委 日本学術振興会
DMD患者iPS細胞由来の心筋細胞を用いた心不全の病態と治療に関する研究	宮崎 大吾	難病診療センター	1,160,000	補委 日本学術振興会
ALアミロイドーシスにおけるプロテアソーム阻害剤感受性決定機構の解明	加藤 修明	内科(3)	650,000	補委 日本学術振興会
神経発達症の遺伝学的背景の探索	高野 亨子	遺伝子医療研究センター	1,200,000	補委 日本学術振興会
慢性腎臓病における血清スルファイド異常の臨床的重要性と機序の解明	上條 祐司	血液浄化療法部	1,460,000	補委 日本学術振興会
バイオシートを用いた完全自己組織からなるヒト心筋組織の構築	和田 有子	外科(2)	1,475,000	補委 日本学術振興会
胆汁排泄機能を伴ったiPS細胞由来肝胆管オルガノイドの作製	小川 真一郎	組織移植再生医療センター	1,490,000	補委 日本学術振興会

分子進化工学的手法を用いたNav1.7阻害薬の開発	石田 高志	麻酔科蘇生科	970,000	補委	日本学術振興会
高い安全性と優れた骨形性能をもつ世界初新型PEEK頸椎スパーサーの開発	伊東 清志	脳神経外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
フリーラン自発筋電図による定量的モニタリングの開発	後藤 哲哉	脳神経外科	1,620,000	補委	日本学術振興会
子宮内膜癌におけるPPP2R1A遺伝子変異の意義の検討	布施谷 千穂	産科婦人科	1,230,000	補委	日本学術振興会
ゲノム構造変化による感音難聴の発症メカニズムの解明に関する研究	茂木 英明	耳鼻いんこう科	2,080,000	補委	日本学術振興会
原因診断に基づく人工聴覚器の使い分け指針の確立に関する研究	岩崎 聡	耳鼻いんこう科	1,560,000	補委	日本学術振興会
口腔癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	山田 慎一	特殊歯科・口腔外科	1,036,000	補委	日本学術振興会
代謝メカニズムに基づいた微小癌の検出に関する研究	嶋根 哲	特殊歯科・口腔外科	1,820,000	補委	日本学術振興会
小児IBSに対するlow FODMAP dietの有効性と腸内環境の解析	中山 佳子	小児科	1,070,000	補委	日本学術振興会
MRSAの空気伝播による院内感染の検討	金井 信一郎	感染制御室	0	補委	日本学術振興会
作家・北杜夫の病跡学研究	高橋 徹	精神科	260,000	補委	日本学術振興会
移植後拒絶反応におけるOGG1の役割	五味淵 俊仁	外科(2)	910,000	補委	日本学術振興会
磁性ビーズを用いたアセトアミノフェンの鎮痛機序の解明	清澤 研吉	集中治療部	0	補委	日本学術振興会
遷延性術後痛における炎症細胞浸潤の解析	吉山 勇樹	麻酔科蘇生科	0	補委	日本学術振興会
早期発症側彎症のモデルD4ST1欠損型エーラスダロス症候群の臨床的・基礎的検討	上原 将志	整形外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
骨・関節痛は骨髄で知覚する:骨髄をターゲットとした鎮痛法の開発	関口 剛美	麻酔科蘇生科	0	補委	日本学術振興会
C線維に特異的に発現しているPLCβ3をターゲットとした術後鎮痛薬の開発	井出 進	麻酔科蘇生科	1,040,000	補委	日本学術振興会
下部尿路微小循環障害の実験系確立とTRPチャンネルの微小循環に対する役割の検討	皆川 倫範	泌尿器科	520,000	補委	日本学術振興会
フィブリノーゲン型腎アミロイドシスの分子病態解明と診断・新規治療法開発への応用	吉長 恒明	内科(3)	1,040,000	補委	日本学術振興会
家族性地中海熱における発作機序解明と新規治療法の開発～月経との関連を通して～	岸田 大	内科(3)	1,300,000	補委	日本学術振興会
慢性心筋梗塞に対する自家iPS細胞を用いた心筋再生療法の開発	市村 創	外科(2)	650,000	補委	日本学術振興会
膨張黒鉛を足場材に用いた新規骨再生技術の開発	傍島 淳	整形外科	1,040,000	補委	日本学術振興会
交感神経系による免疫系制御を介した重症患者の新たな治療戦略	杉山 由紀	麻酔蘇生科	1,430,000	補委	日本学術振興会
卵巣癌における糖転移酵素C2GnT1発現と機能の解析	山田 靖	産科婦人科	1,430,000	補委	日本学術振興会
卵巣明細胞癌および婦人科難治癌の原因遺伝子のcDNAライブラリーによる探索	樋口 正太郎	産科婦人科	1,170,000	補委	日本学術振興会
複数の遺伝子変異が関与する遺伝性難聴症例の解析	森 健太郎	耳鼻いんこう科	1,170,000	補委	日本学術振興会
革新的脳生検術「ボーリングパイプ法」の開発	荻原 利浩	脳神経外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
エクソソーム・スキップ治療によるDMD患者iPS細胞由来心筋の機能の検討	佐藤 充人	内科(3)	2,210,000	補委	日本学術振興会

KRAS変異大腸癌に有効な治療標的分子の解析	北沢 将人	外科(1)	1,820,000	補委	日本学術振興会
深層学習を用いた人工知能による超早期爪部メラノーマ診断システムの構築	古賀 弘志	皮膚科	1,690,000	補委	日本学術振興会
難治性腎疾患における骨髄由来間葉系幹細胞を利用した新規治療法の研究開発	松岡 大輔	小児科	2,860,000	補委	日本学術振興会
小児重症筋無力症の免疫学的病態の解明～新規免疫抑制療法の開発に向けて～	本林 光雄	小児科	3,510,000	補委	日本学術振興会
重症虚血肢に対する脂肪幹細胞移植と血管内治療のハイブリッド治療の確立	海老澤 聡一郎	循環器内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
Runx3の下流遺伝子群の解析による悪性黒色腫に対する新規治療標的の創出	佐藤 勇樹	皮膚科	1,950,000	補委	日本学術振興会
血液循環腫瘍DNAに注目した肢端型・粘膜型メラノーマのバイオマーカーの探索	境澤 香里	皮膚科	2,080,000	補委	日本学術振興会
先天性無痛症に関連する変異遺伝子によるナトリウムチャンネル機能の解明	清澤 研吉	集中治療部	1,040,000	補委	日本学術振興会
ストレスシールドングフリーを実現:新規開発材料による次世代型骨伝導インプラント	滝沢 崇	リハビリテーション部	1,430,000	補委	日本学術振興会
骨肉腫におけるWnt経路の役割および古典的経路と非古典的経路の相互作用の解明	佐々木 純	整形外科	2,340,000	補委	日本学術振興会
閉経モデルマウス滑膜内臓の網羅的遺伝子発現解析による狭窄性腱鞘炎の病態解明	岩川 絃子	整形外科	1,950,000	補委	日本学術振興会
Wnt経路を標的とした悪性骨腫瘍の病態解析とスクロスタチンによる治療の臨床応用	岡本 正則	整形外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
骨肉腫と免疫細胞の相互作用の解明による骨肉腫に対する新規治療標的の探索	吉田 和薫	整形外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
四肢の骨格形態・形成に関するZMAT2遺伝子の機能解析	鈴木 孝子	整形外科	2,340,000	補委	日本学術振興会
ARONJに対するテリパラチド投与における骨代謝動態および病理組織学的検討	森下 廣太	特殊歯科・口腔外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
互恵的相互依存に着目した医療系協調学習の分析と改善	清水 郁夫	医療安全管理室	1,170,000	補委	日本学術振興会
心臓リハビリテーション介入と運動機能改善および医療費削減効果の関係	山本 周平	リハビリテーション部	1,690,000	補委	日本学術振興会
簡易的な嚙下スクリーニングのためのセンサシートの改良を目指した筋電図分析	小山 吉人	特殊歯科・口腔外科	2,730,000	補委	日本学術振興会
光線免疫療法の消化器腫瘍への応用にむけた基礎的検討	長屋 匡信	内科(2)	1,560,000	補委	日本学術振興会
下肢静脈エコー検査時の検査ベッドの違いによる患者・検査者満足度について	小原 美歌	臨床検査部	320,000	補委	日本学術振興会
ヒト中枢神経系CYP1遺伝子の3-MC応答性に脳内エピジェネティクスが与える影響	小澤 秀介	薬剤部	530,000	補委	日本学術振興会
医薬品副作用データベースを用いたビルダグリプチンの肝障害危険因子の解明	朝倉 充俊	薬剤部	350,000	補委	日本学術振興会
呼吸器疾患におけるエイコサノイドの高感度測定法の開発	堀 敦詞	臨床検査部	510,000	補委	日本学術振興会
MSIを伴う低分化型大腸癌におけるLgr5陽性癌幹細胞の臨床病理学的特徴	中嶋 智之	臨床検査部	460,000	補委	日本学術振興会
可溶性IL-11受容体測定ELISAの構築:IL-11トランス経路の臨床的意義	内堀 隆亮	臨床検査部	530,000	補委	日本学術振興会
Ski遺伝子メチル化異常はIgG4関連疾患の原因となるのか	衣川 康弘	臨床検査部	490,000	補委	日本学術振興会
薬剤感受性試験変法他菌種Small-Colony Variantsへの応用	堀内 一樹	臨床検査部	410,000	補委	日本学術振興会
血小板凝集における変性リポ蛋白質の役割の解明	宇佐美 陽子	臨床検査部	530,000	補委	日本学術振興会

心臓血管外科術後の肺炎発症における口腔内細菌叢および気道クリアランスの影響	小口 和津子	リハビリテーション部	450,000	補委	日本学術振興会
発達障害児における生活リズムと発達特性の関連	堺 彩夏	リハビリテーション部	530,000	補委	日本学術振興会
子宮頸がんワクチン接種後に生じた症状に関する治療法の確立と情報提供についての研究	池田 修一	難病診療センター	538,000	補委	厚生労働省
既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルとnab-パクリタキセルのランダム化比較第Ⅲ相試験－	小泉 知展	信州がんセンター	0	補委	国立大学法人九州大学
トホグリフロジンの安全性および有効性の検討－前向き観察研究－	駒津 光久	内科(4)	0	補委	公益社団法人日本糖尿病協会
高血圧を伴う左室拡張機能低下を有する心不全症例を対象としたアジサルタンによる左室拡張機能改善効果の探索的検討(略称:J-TASTE trial)	元木 博彦	内科(5)	270,000	補委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
進行悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性評価に関する観察研究	木庭 幸子	皮膚科	32,400	補委	公益社団法人ハブリックヘルスリサーチセンター
MRI-based assessment of the risk factor for hepatocellular carcinoma of chronic hepatitis type C after anti-viral therapy	山田 哲	放射線科	0	補委	国立大学法人山梨大学
分化型甲状腺癌を対象としたレンパニチブの治療効果探索のためのコホート研究	伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	21,600	補委	公益社団法人ハブリックヘルスリサーチセンター
舌再建手術後の嚥下障害発生割合を検討する多施設共同前向き観察研究	柳澤 大輔	形成外科	10,791	補委	公益社団法人静岡県産業振興財団
未来医療を実現する先端医療機器・システムの研究開発/安全性と医療効率の向上を両立するスマート治療室の開発	本郷 一博	脳神経外科	33,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
IL-12発現型がん治療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する革新的ウイルス免疫療法開発	奥山 隆平	皮膚科	83,200,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	駒津 光久	糖尿病・内分泌代謝内科	300,000	補委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
左室収縮性が保持された心不全合併高血糖型糖尿病患者における、SGLT2阻害薬カナグリフロジンの有効性・安全性に及ぼす影響	桑原 宏一郎	循環器内科	0	補委	公立大学法人奈良県立医科大学
「若年性優劣遺伝子性アルツハイマー病に関する多元的臨床データ収集と共有化による効率的な病態解明」における遺伝子カウンセリング	関島 良樹	内科(3)	19,224	補委	公立大学法人大阪市立大学
次世代型在宅保健医療システムのためのIoTメディカルケアテストベッド	日根野 晃代	難病診療センター	3,198,000	補委	総務省信越総合通信局
抗PD-L1抗体による転移性黒色腫に対するNivolumab併用画像誘導3次元集光式超高分割照射法(IGE)による非照射病巣の縮小効果増強の有無を検証する多施設ランダム化第2相比較試験	小岩井 慶一郎	放射線部	0	補委	国立大学法人山梨大学
末梢血幹細胞移植における採取および処理・保管法の標準化に関する研究	下平 滋隆	先端細胞治療センター	682,000	補委	独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター
国産医療機器創出促進基盤整備等事業	松本 和彦	臨床研究支援センター	10,295,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

計100

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yamada SI, Kurita H, Kondo E, et al.	特殊歯科・口腔外科	Treatment outcomes and prognostic factors of medication-related osteonecrosis of the jaw: a case- and literature-based review.	Clin Oral Investig. 2019 Aug;23(8):3203-3211. (オンライン)	Original Article
2	Fukushima K, Yokoyama T, Miwa S, et al.	第一外科	Impact of age on groin hernia profiles observed during laparoscopic transabdominal preperitoneal hernia repair.	Surg Endosc. 2019 Aug;33(8):2602-2611. (オンライン)	Original Article
3	Sakurai SI, Yamada SI, Karasawa I, et al.	特殊歯科・口腔外科	A longitudinal study on the relationship between dental health and metabolic syndrome in Japan.	J Periodontol. 2019 Jul;90(7):728-746. (オン ライン)	Original Article
4	Suzuki T, Nakamura Y, Kato H.	整形外科	Efficacy of 4-year denosumab treatment alone or in combination with teriparatide in Japanese postmenopausal osteoporotic women.	Mod Rheumatol. 2019 Jul;29(4):676-681. (オン ライン)	Original Article
5	Ito K, Nakamura T, Horiuchi T, et al.	脳神経外科	Surgical treatment of cervical spondylosis in patients 80 years of age and older-A retrospective observational study.	PLoS One. 2019 Jun 26;14(6):e0217725. (オン ライン)	Original Article
6	Kodaira M, Ohashi N, Morita H, et al.	第三内科	Length-dependent truncal A α -fiber dysfunction in hereditary transhyretin amyloidosis: An intra-epidermal electrical stimulation	Clin Neurophysiol. 2019 Jun;130(6):903-910. (オ ンライン)	Original Article

7	Sato Y, Shirota S, Kiniwa Y, et al.	皮膚科	Thymoma-associated graft-versus-host-like disease treated with high-dose i.v. immunoglobulin.	J Dermatol. 2019 Jun;46(6):e224-e225. (オンライン)	Letter
8	Koyama J, Minamisawa M, Sekijima Y, et al.	循環器内科	Role of echocardiography in assessing cardiac amyloidoses: a systematic review.	J Echocardiogr. 2019 Jun;17(2):64-75. (オンライン)	Original Article
9	Iwasa YI, Nishio SY, Sugaya A, et al.	耳鼻咽喉科	OTOF mutation analysis with massively parallel DNA sequencing in 2,265 Japanese sensorineural hearing loss patients.	PLoS One. 2019 May 16;14(5):e0215932. (オンライン)	Original Article
10	Miyamoto T, Shiozawa T.	産婦人科	Two-sided role of estrogen on endometrial carcinogenesis: stimulator or suppressor?	Gynecol Endocrinol. 2019 May;35(5):370-375. (オンライン)	Original Article
11	Kawakami T, Sekiguchi N, Kobayashi J, et al.	第二内科	STAT3 mutations in natural killer cells are associated with cytopenia in patients with chronic lymphoproliferative disorder of natural killer cells.	Int J Hematol. 2019 May;109(5):563-571. (オンライン)	Original Article
12	Yanagaisawa R, Matsuda K, Ohga S, et al.	輸血部	Factors predicting the recurrence of Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis in children after treatment using the	Int J Hematol. 2019 May;109(5):612-617. (オンライン)	Original Article
13	Nihei T, Kiniwa Y, Mikoshiba Y, et al.	皮膚科	Improvement of porphyria cutanea tarda following treatment of hepatitis C virus by direct-acting antivirals: A case report.	J Dermatol. 2019 May;46(5):e149-e151. (オンライン)	Letter
14	Suga T, Ito A, Ota H, et al.	内視鏡センター	Response to the letter by Matsushita et al. regarding our manuscript "Resection Depth and Layer of Cold Snare Polypectomy versus Endoscopic Mucosal	J Gastroenterol. 2019 May;54(5):473. (オンライン)	Letter

15	Nishie K, Yamamoto S, Yamaga T, et al.	第一内科	Peripherally acting ホ シ-opioid antagonist for the treatment of opioid-induced constipation: Systematic review and meta-analysis.	J Gastroenterol Hepatol. 2019 May;34(5):818-829. (オンライン)	Original Article
16	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Determination of optimal screw number based on correction angle for main thoracic curve in adolescent idiopathic scoliosis.	J Orthop Sci. 2019 May;24(3):415-419. (オ ンライン)	Original Article
17	Yasunaga Y, Yanagisawa D, Ohata E, et al.	形成外科	Bioelectrical Impedance Analysis of Water Reduction in Lower-Limb Lymphedema by Lymphaticovenular Anastomosis.	J Reconstr Microsurg. 2019 May;35(4):306-314. (オンライン)	Original Article
18	Komori K, Hirabayashi K, Morita D, et al.	小児科	Ovarian function after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in children and young adults given 8-Gy total body irradiation-based reduced-toxicity myeloablative conditioning.	Pediatr Transplant. 2019 May;23(3):e13372. (オン ライン)	Original Article
19	Oosawa R, Iwasaki R, Suzuki T, et al.	リハビリテーション部	Neurophysiological Analysis of Intermanual Transfer in Motor Learning.	Front Hum Neurosci. 2019 Apr 18;13:135. (オンライ ン)	Original Article
20	Ogawa Y, Nakamura K, Ezawa N, et al.	第三内科	A novel CACNA1A nonsense variant in a patient presenting with paroxysmal exertion-induced dyskinesia.	J Neurol Sci. 2019 Apr 15;399:214-216. (オンラ イン)	Letter
21	Yoshida K, Okamoto M, Sasaki J, et al.	整形外科	Clinical outcome of osteosarcoma and its correlation with programmed death- ligand 1 and T cell activation markers.	Onco Targets Ther. 2019 Apr 3;12:2513-2518. (オ ンライン)	Original Article

22	Ueki Y, Miura T, Mochidome T, et al.	循環器内科	Comparison of leg loader and treadmill exercise for evaluating patients with peripheral artery disease.	Heart Vessels. 2019 Apr;34(4):590-596. (オンライン)	Original Article
23	Honma H, Nakayama Y, Kato S, et al.	小児科	Clinical features of Helicobacter pylori antibody-positive junior high school students in Nagano Prefecture, Japan.	Helicobacter. 2019 Apr;24(2):e12559. (オンライン)	Original Article
24	Sekido T, Nishio SI, Ohkubo Y, et al.	第四内科	Repression of insulin gene transcription by indirect genomic signaling via the estrogen receptor in pancreatic beta cells.	In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2019 Apr;55(4):226-236. (オンライン)	Original Article
25	Tanaka S, Ichino T, Kawamata M.	麻酔科蘇生科	Reply to the letter to the editor.	J Anesth. 2019 Apr;33(2):349. (オンライン)	Letter
26	Ichino T, Tanaka S, Tanaka R, et al.	麻酔科蘇生科	Transcranial motor-evoked potentials of laryngeal muscles for intraoperative neuromonitoring of the vagus nerve during thyroid surgery.	J Anesth. 2019 Apr;33(2):221-229. (オンライン)	Original Article
27	Omodaka T, Kiyohara Y, Uematsu T, et al.	皮膚科	Preoperative ultrasound evaluation of lymph nodes for extramammary Paget's disease in the genital area.	J Dermatol. 2019 Apr;46(4):361-363. (オンライン)	Original Article
28	Nishimaki F, Yamada SI, Kawamoto M, et al.	特殊歯科・口腔外科	Relationship Between the Quantity of Oral Candida and Systemic Condition/Diseases of the Host: Oral Candida Increases with Advancing Age and Anemia.	Mycopathologia. 2019 Apr;184(2):251-260. (オンライン)	Original Article
29	Ichimata S, Aoyagi D, Yoshinaga T, et al.	臨床検査部	A case of spheroid-type localized lactoferrin amyloidosis in the bronchus.	Pathol Int. 2019 Apr;69(4):235-240. (オンライン)	Case Reports

30	Gomi D, Fukushima T, Kobayashi T, et al.	包括的がん治療学	Fluorine-18-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography evaluation in metastatic bone lesions in lung cancer: Possible prediction of pain and skeletal-related events.	Thorac Cancer. 2019 Apr;10(4):980-987. (オンライン)	Original Article
31	Nagm A, Ogiwara T, Hongo K.	脳神経外科	Watertight Robust Osteoconductive Barrier for Complex Skull Base Reconstruction: An Expanded-endoscopic Endonasal Experimental Study.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Mar 15;59(3):79-88. (オンライン)	Original Article
32	Yokota Y, Moteiki H, Nishio SY, et al.	耳鼻咽喉科	Frequency and clinical features of hearing loss caused by STRC deletions.	Sci Rep. 2019 Mar 13;9(1):4408.	Original Article
33	Miura K, Hamanaka K, Koizumi T, et al.	第二外科	Solid component tumor doubling time is a prognostic factor in non-small cell lung cancer patients.	J Cardiothorac Surg. 2019 Mar 12;14(1):57.	Original Article
34	Nakamura A.	第三内科	Mutation-Based Therapeutic Strategies for Duchenne Muscular Dystrophy: From Genetic Diagnosis to Therapy.	J Pers Med. 2019 Mar 4;9(1). pii: E16.	Original Article
35	Ohashi N, Kodaira M, Morita H, et al.	第三内科	Electrophysiological demyelinating features in hereditary ATTR amyloidosis.	Amyloid. 2019 Mar;26(1):15-23. (オンライン)	Original Article
36	Nakajima Y, Yuzuriha S, Nagai F, et al.	形成外科	Oronasal Transfixion Suture to Prevent Uplifted Nasal Floor Deformity in Cleft Lip and Palate Patients: A 5-Year Follow-Up.	Cleft Palate Craniofac J. 2019 Mar;56(3):390-394. (オンライン)	Original Article

小計32件

37	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Prediction of Spontaneous Lumbar Curve Correction After Posterior Spinal Fusion for Adolescent Idiopathic Scoliosis Lenke Type 1 Curves.	Clin Spine Surg. 2019 Mar;32(2):E112-E116.	Original Article
38	Nagano N, Koide S, Hayashi W, et al.	保健学科	Population-level transition of capsular polysaccharide types among sequence type 1 group B Streptococcus isolates with reduced penicillin susceptibility during a long-term hospital epidemic.	Int J Antimicrob Agents. 2019 Mar;53(3):203-210. (オンライン)	Original Article
39	Okada A, Shoda M, Tabata H, et al.	循環器内科	Corrigendum to "Single-center experience with percutaneous lead extraction of cardiac implantable electric devices" [J. Cardiol. 71 (2018) 192-196].	J Cardiol. 2019 Mar;73(3):262.	Original Article
40	Ogiwara T, Goto T, Fujii Y, et al.	脳神経外科	Usefulness of a Newly Developed Ultrasonic Microdissector in Neurosurgery: A Preliminary Experimental Study.	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg. 2019 Mar;80(2):96-101. (オン ライン)	Original Article
41	Ohta K, Kimura T.	保健学科	Effects of sudden unexpected mechanical perturbation training aimed at the primary prevention of inversion ankle sprain on reactivity of ankle movement and cortical activity in normal young adults.	J Phys Ther Sci. 2019 Mar;31(3):242-249. (オン ライン)	Original Article
42	Sakai H, Yamada SI, Gibo T, et al.	特殊歯科・口腔外科	A retrospective analysis of the prevalence of dental diseases in patients with digestive system cancers.	Medicine (Baltimore). 2019 Mar;98(13):e14771.	Other
43	Uehara M, Takahashi J, Kuraishi S, et al.	整形外科	Two-stage posterior spinal fusion for early-onset scoliosis: Two case reports.	Medicine (Baltimore). 2019 Mar;98(9):e14728.	Case Reports

44	Nagm A, Hongo K.	脳神経外科	Letter: Paratrigeminal, Paraclival, Precavernous, or All of the Above? A Circumferential Anatomical Study of the C3-C4	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2019 Mar 1;16(3):E108-E109.	Original Article
45	Michinaga Y, Takano T, Terasaki T, et al.	臨床工学部	Hemolytic characteristics of three suctioning systems for use with a newly developed cardiopulmonary bypass system.	Perfusion. 2019 Mar;34(2):136-142. (オン ライン)	Original Article
46	Mbadugha T, Ogiwara T, Nagm A, et al.	脳神経外科	Superficial Siderosis Associated with Craniopharyngioma.	World Neurosurg. 2019 Mar;123:108-112. (オン ライン)	Case Reports
47	Oiwa A, Minemura K, Nishio SI, et al.	第四内科	Implications of thyroid autoimmunity in infertile women with subclinical hypothyroidism in the absence of both goiter and anti- thyroid antibodies: lessons from three cases.	Endocr J. 2019 Feb 28;66(2):193-198. (オン ライン)	Original Article
48	Uehara M, Nakamura Y, Takahashi J, et al.	整形外科	Efficacy of denosumab therapy for a 21-year-old woman with Prader- Willi syndrome, osteoporosis and history of fractures: a case report.	Ther Clin Risk Manag. 2019 Feb 25;15:303-307. (オンライン)	Case Reports
49	Kako S, Joshita S, Matsuo A, et al.	第二内科	A Case of Adult T- Cell Leukemia/Lymphoma Complicated with Bilateral Chylothorax.	Case Rep Oncol Med. 2019 Feb 17;2019:8357893. (オンラ イン)	Case Reports
50	Okano T, Okada A, Tabata H, et al.	循環器内科	Wire perforation causing cardiopulmonary arrest during radiofrequency hot balloon ablation for pulmonary vein isolation.	J Cardiol Cases. 2019 Feb 15;19(5):169-172. (オン ライン)	Case Reports

51	Miura K, Oba T, Hamanaka K, et al.	第二外科	FGF2-FGFR1 pathway activation together with thymidylate synthase upregulation is induced in pemetrexed-resistant lung cancer cells.	Oncotarget. 2019 Feb 5;10(11):1171-1192. (オンライン)	Original Article
52	Hirabayashi K, Tanaka M, Imai A, et al.	循環器内科	Development of a Novel Model of Central Retinal Vascular Occlusion and the Therapeutic Potential of the Adrenomedullin-Receptor Activity-Modifying Protein 2 System.	Am J Pathol. 2019 Feb;189(2):449-466. (オンライン)	Original Article
53	Hirano T, Kitahara J, Toriyama Y, et al.	眼科	Quantifying vascular density and morphology using different swept-source optical coherence tomography angiographic scan	Br J Ophthalmol. 2019 Feb;103(2):216-221. (オンライン)	Original Article
54	Akagawa D, Motoki N, Hachiya A, et al.	小児科	Transient Q-waves in an infant with asymptomatic myocardial infarction due to Kawasaki disease.	Cardiol Young. 2019 Feb;29(2):231-234. (オンライン)	Case Reports
55	Yanagisawa R, Nakazawa Y, Matsuda K, et al.	輸血部	Outcomes in children with hemophagocytic lymphohistiocytosis treated using HLH-2004 protocol in Japan.	Int J Hematol. 2019 Feb;109(2):206-213. (オンライン)	Original Article
56	Saida T.	皮膚科	Histogenesis of cutaneous malignant melanoma: The vast majority do not develop from melanocytic nevus but arise de novo as melanoma in situ.	J Dermatol. 2019 Feb;46(2):80-94. (オンライン)	Original Article
57	Umemura T, Joshita S, Shibata S, et al.	第二内科	Renal impairment is associated with increased risk of mortality in patients with cirrhosis: A retrospective cohort study.	Medicine (Baltimore). 2019 Feb;98(6):e14475.	Original Article

58	Oba H, Ebata S, Takahashi J, et al.	整形外科	Loss of Pelvic Incidence Correction After Long Fusion Using Iliac Screws for Adult Spinal Deformity: Cause and Effect on Clinical Outcome.	Spine (Phila Pa 1976). 2019 Feb 1;44(3):195-202.	Original Article
59	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Sagittal spinal alignment deviation in the general elderly population: a Japanese cohort survey randomly sampled from a basic resident registry.	Spine J. 2019 Feb;19(2):349-356. (オンライン)	Original Article
60	Zhang M, Horiuchi T, Nitta J, et al.	脳神経外科	Intraoperative Test Occlusion as Adjustment of Extracranial-to-Intracranial Bypass Strategy for Unclippable Giant Aneurysm of the Internal Carotid Artery.	World Neurosurg. 2019 Feb;122:129-132. (オンライン)	Case Reports
61	Motoki H, Yasukochi S, Takigiku K, et al.	循環器内科	Establishment of a Healthcare System for Patients With Adult Congenital Heart Disease in Collaboration With Children's Hospital 縹 - The Nagano Model.	Circ J. 2019 Jan 25;83(2):424-431. (オンライン)	Original Article
62	Al-Kzayer LFY, Yassin AK, Salih KH, et al.	小児科	A Syrian Refugee in Iraq Diagnosed as a Case of IL12RB1 Deficiency in Japan Using Dried Blood Spots.	Front Immunol. 2019 Jan 25;10:58. (オンライン)	Case Reports
63	Kawamata M, Iseki M, Kawakami M, et al.	麻酔科蘇生科	Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic low back pain in Japan: results of an enriched enrollment	J Pain Res. 2019 Jan 17;12:363-375. (オンライン)	Original Article
64	Ohkubo Y, Sekido T, Nishio SI, et al.	第四内科	Loss of ホン-crystallin causes PPAR α activation and obesity in high-fat diet-fed mice.	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Jan 15;508(3):914-920. (オンライン)	Original Article

65	Sato M, Kishida D, Miyazaki D, et al.	第三内科	A Patient with Limbic Encephalitis Associated with Anti-leucine-rich Glioma-inactivated 1 (LGI1) Antibody Presenting with Slowly Progressive Cognitive Impairment and Fluctuating Striatal Lesions.	Intern Med. 2019 Jan 15;58(2):287-291. (オンライン)	Case Reports
66	Sekijima Y, Mundayat R, Ishii T, et al.	第三内科	The current status of the Transthyretin Amyloidosis Outcomes Survey (THAOS) in Japan.	Amyloid. 2019;26(sup1):61-62.	Original Article
67	Kamimura T.	保健学科	Older Adults with Alzheimer's Disease Who Have Used an Automatic Medication Dispenser for 3 or More Years.	Clin Gerontol. 2019 Jan-Feb;42(1):127-133. (オンライン)	Original Article
68	Ikuyama Y, Ushiki A, Akahane J, et al.	第一内科	Comparison of clinical characteristics of patients with Mycobacterium avium complex disease by gender.	Epidemiol Infect. 2019 Jan;147:e108.	Original Article
69	Shirai T, Kiniwa Y, Sato R, et al.	皮膚科	Presence of antibodies to striated muscle and acetylcholine receptor in association with occurrence of myasthenia gravis with myositis and myocarditis in a patient with melanoma treated with an anti-programmed death 1 antibody.	Eur J Cancer. 2019 Jan;106:193-195. (オンライン)	Letter
70	Minamisawa M, Koyama J, Ikeda U.	循環器内科	Left ventricular noncompaction cardiomyopathy: Recent update on genetics, usefulness of biomarkers, and speckle imaging.	J Cardiol. 2019 Jan;73(1):95-96. (オンライン)	Letter

小計38件

71	Shigemura T, Kobayashi N, Agematsu K, et al.	小児科	Mosaicism of an ELANE Mutation in an Asymptomatic Mother.	J Clin Immunol. 2019 Jan;39(1):106-111. (オン ライン)	Original Article
72	Sato A, Takei M, Hiramatsu K, et al.	第四内科	Effects of Sitagliptin on Pancreatic Beta- Cells in Type 2 Diabetes With Sulfonylurea Treatment: A Prospective Randomized Study.	J Clin Med Res. 2019 Jan;11(1):15-20. (オンラ イン)	Original Article
73	Zhang H, Kashihara T, Nakada T, et al.	分子薬理学	Prostanoid EP4 Receptor-Mediated Augmentation of I (h) Currents in A δ Dorsal Root Ganglion Neurons Underlies Neuropathic Pain.	J Pharmacol Exp Ther. 2019 Jan;368(1):50-58. (オンライン)	Original Article
74	Suzuki T, Hattori R, Minagawa T, et al.	泌尿器科	Intestinal Injury by Heat Conduction from Surgical Sealing Devices.	JLS. 2019 Jan-Mar;23(1). pii: e2018.00100.	Original Article
75	Sakurai T, Kamiyoshi A, Ohtsuka M, et al.	循環器内科	Isolation and Analysis of a Genome-Edited Single-Hepatocyte from a Cas9 Transgenic Mouse Line.	Methods Mol Biol. 2019;1874:257-271.	Original Article
76	Nagm A, Ogiwara T, Hirouchi T, et al.	脳神経外科	Letter: Comparative Analysis Between Lateral Orbital Rim Preservation and Osteotomy for Transorbital Endoscopic Approaches to the Cavernous Sinus: An Anatomic Study.	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2019 Jan 1;16(1):E37.	Original Article
77	Hirano T, Toriyama Y, Iesato Y, et al.	眼科	Effect of Leaking Foveal Microaneurysms on the Treatment of Center-Involving Diabetic Macular Edema: A Pilot Study.	Ophthalmic Res. 2019;61(1):10-18. (オン ライン)	Original Article

78	Shindo T, Tanaka M, Kamiyoshi A, et al.	循環器内科	Regulation of cardiovascular development and homeostasis by the adrenomedullin-RAMP system.	Peptides. 2019 Jan;111:55-61. (オンライン)	Original Article
79	Matsuoka S, Koyama T, Takeda T, et al.	第二外科	Development of angiosarcoma in a mediastinal non-seminomatous germ cell tumor that exhibited growing teratoma syndrome during chemotherapy.	Thorac Cancer. 2019 Jan;10(1):111-115. (オンライン)	Case Reports
80	Asaka S, Nakajima T, Momose M, et al.	臨床検査部	Trefoil factor family 2 protein: a potential immunohistochemical marker for aiding diagnosis of lobular endocervical glandular hyperplasia and gastric-type adenocarcinoma of the uterine cervix.	Virchows Arch. 2019 Jan;474(1):79-86. (オンライン)	Other
81	Koyama S, Tensho K, Shimodaira H, et al.	整形外科	A Case of Prefemoral Fat Pad Impingement Syndrome Caused by Hyperplastic Fat Pad.	Case Rep Orthop. 2018 Dec 23;2018:3583049. (オンライン)	Case Reports
82	Hirano T, Imai A, Kasamatsu H, et al.	眼科	Assessment of diabetic retinopathy using two ultra-wide-field fundus imaging systems, the Clarus 750 and Optos 800 systems.	BMC Ophthalmol. 2018 Dec 20;18(1):332.	Original Article
83	Suzuki T, Nakamura Y, Kato H.	整形外科	Calcium and vitamin D supplementation with 3-year denosumab treatment is beneficial to enhance bone mineral density in postmenopausal patients with osteoporosis and rheumatoid arthritis.	Ther Clin Risk Manag. 2018 Dec 18;15:15-22. (オンライン)	Original Article

84	Oba H, Ebata S, Takahashi J, et al.	整形外科	Pedicle Perforation While Inserting Screws Using O-arm Navigation During Surgery for Adolescent Idiopathic Scoliosis: Risk Factors and Effect of Insertion Order.	Spine (Phila Pa 1976). 2018 Dec 15;43(24):E1463-E1468.	Other
85	Imamura H, Kamijo H, Nitta K, et al.	救急集中治療医学	Nocturnal enuresis as the initial symptom of life-threatening arrhythmia: a case report.	BJGP Open. 2018 Dec 12;2(4):bjgpopen18X101624. (オンライン)	Original Article
86	Iwasa YI, Tsukada K, Kobayashi M, et al.	耳鼻咽喉科	Bilateral delayed endolymphatic hydrops evaluated by bilateral intratympanic injection of gadodiamide with 3T-MRI.	PLoS One. 2018 Dec 5;13(12):e0206891. (オンライン)	Original Article
87	Minamisawa M, Koyama J, Kozuka A, et al.	循環器内科	Duration of myocardial early systolic lengthening for diagnosis of coronary artery disease.	Open Heart. 2018 Dec 4;5(2):e000896. (オンライン)	Original Article
88	Moteki H, Nishio SY, Miyagawa M, et al.	耳鼻咽喉科	Feasibility of hearing preservation for residual hearing with longer cochlear implant electrodes.	Acta Otolaryngol. 2018 Dec;138(12):1080-1085. (オンライン)	Original Article
89	Chino T, Oba T, Yamamoto K, et al.	第二外科	[A Case of Arteritis That Developed after Pegfilgrastim Administration during Chemotherapy for Breast Cancer].	Gan To Kagaku Ryoho. 2018 Dec;45(12):1771-1774. Japanese.	Case Reports
90	Hamanaka K, Koyama T, Matsuoka S, et al.	第二外科	Analysis of surgical treatment of Masaoka stage III-IV thymic epithelial tumors.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Dec;66(12):731-735. (オンライン)	Original Article

91	Fukushima K, Kobayashi A.	第一外科	Hepatoid carcinoma of the pancreas mimicking neuroendocrine tumor.	Hepatobiliary Surg Nutr. 2018 Dec;7(6):501-502.	Case Reports
92	Komatsu M, Tanaka N, Kimura T, et al.	第二内科	Migliitol attenuates non-alcoholic steatohepatitis in diabetic patients.	Hepatol Res. 2018 Dec;48(13):1092-1098. (オンライン)	Original Article
93	Sagari A, Ikio Y, Imamura N, et al.	保健学科	Effect of occupation- based interventions in patients with haematopoietic malignancies undergoing chemotherapy: A pilot randomised controlled trial.	Hong Kong J Occup Ther. 2018 Dec;31(2):97-105. (オンライン)	Original Article
94	Ikeda SI, Hineno A, Ozawa K, et al.	難病診療センター	Suspected adverse effects after human papillomavirus vaccination: a temporal relationship.	Immunol Res. 2018 Dec;66(6):723-725.	Original Article
95	Sakurai K, Kawai Y, Yamazaki M, et al.	第四内科	Prediction of lowest nocturnal blood glucose level based on self-monitoring of blood glucose in Japanese patients with type 2 diabetes.	J Diabetes Complications. 2018 Dec;32(12):1118- 1123. (オンライン)	Original Article
96	Komatsu M, Nakada T, Kawagishi H, et al.	薬剤部	Increase in phospholamban content in mouse skeletal muscle after denervation.	J Muscle Res Cell Motil. 2018 Dec;39(5-6):163- 173. (オンライン)	Original Article
97	Takashimizu I, Yuzuriha S.	形成外科	The amounts of melanin pigment causing color differences between the vermilion and lip mucosa.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2018 Dec;71(12):1816-1834. (オンライン)	Letter

98	Sugiura A, Joshita S, Umemura T, et al.	第二内科	Past history of hepatocellular carcinoma is an independent risk factor of treatment failure in patients with chronic hepatitis C virus infection receiving direct-acting antivirals.	J Viral Hepat. 2018 Dec;25(12):1462-1471. (オンライン)	Original Article
99	Liu T, Kamiyoshi A, Tanaka M, et al.	循環器内科	RAMP3 deficiency enhances postmenopausal obesity and metabolic disorders.	Peptides. 2018 Dec;110:10-18. (オンライン)	Original Article
100	Miura K, Hamanaka K, Matsuoka S, et al.	第二外科	Primary mediastinal dedifferentiated liposarcoma: Five case reports and a review.	Thorac Cancer. 2018 Dec;9(12):1733-1740. (オンライン)	Original Article
101	Harada M, Ichikawa T, Kobayashi M.	第二内科	Onset of Takotsubo Syndrome during the Clinical Course of Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Case Report.	Tohoku J Exp Med. 2018 Dec;246(4):251-256.	Case Reports
102	Kojima S, Yanagisawa R, Tanaka M, et al.	輸血部	Comparison of administration of platelet concentrates suspended in M-sol or BRS-A for pediatric patients.	Transfusion. 2018 Dec;58(12):2952-2958. (オンライン)	Original Article
103	Harada M, Miyashita Y, Ichikawa T, et al.	第二内科	A Case of Rapid Progressive Kidney Dysfunction with Severely Calcified Stenotic Aorta.	Case Rep Nephrol Dial. 2018 Nov 27;8(3):253-260. (オンライン)	Case Reports
104	Kobayashi T, Nakamura Y, Suzuki T, et al.	整形外科	Efficacy and Safety of Denosumab Therapy for Osteogenesis Imperfecta Patients with Osteoporosis-Case Series.	J Clin Med. 2018 Nov 24;7(12). pii: E479.	Original Article

105	Nakazawa H, Nishina S, Sakai H, et al.	第二内科	Successful Empiric Therapy for Postsplenectomy Sepsis with Campylobacter fetus in an Abattoir Worker with Follicular Lymphoma.	Intern Med. 2018 Nov 15;57(22):3329-3332. (オ ンライン)	Case Reports
106	Iesato Y, Tanaka M, Murata M, et al.	眼科	Complete regression of branching vascular network in polypoidal choroidal vasculopathy by ranibizumab and photodynamic therapy, two case	BMC Ophthalmol. 2018 Nov 3;18(1):284.	Case Reports
107	Uehara M, Kosho T, Yamamoto N, et al.	整形外科	Spinal manifestations in 12 patients with musculocontractural Ehlers-Danlos syndrome caused by CHST14/D4ST1 deficiency (mcEDS- CHST14).	Am J Med Genet A. 2018 Nov;176(11):2331-2341. (オンライン)	Original Article
108	Gomibuchi T, Seto T, Komatsu M, et al.	循環器外科	Impact of Frailty on Outcomes in Acute Type A Aortic Dissection.	Ann Thorac Surg. 2018 Nov;106(5):1349-1355. (オンライン)	Original Article
109	Umemura T, Yamazaki T, Joshita S, et al.	第二内科	Quantitative analysis of serum chemokines associated with treatment failure of direct-acting antivirals in chronic hepatitis C.	Cytokine. 2018 Nov;111:357-363. (オン ライン)	Original Article
110	Saito S, Ogiso Y, Sakashita K.	小児科	Lymphadenopathy with coexisting normal architecture in malignant lymphoma.	Int J Hematol. 2018 Nov;108(5):463-464. (オ ンライン)	Case Reports
111	Omodaka T, Minagawa A, Uhara H, et al.	皮膚科	Serum 5-S- cysteinyl-dopa behavior in the early phase of nivolumab treatment of 12 melanoma patients.	J Dermatol. 2018 Nov;45(11):1340-1344. (オンライン)	Original Article
112	Ito A, Suga T, Ota H, et al.	第二内科	Resection depth and layer of cold snare polypectomy versus endoscopic mucosal resection.	J Gastroenterol. 2018 Nov;53(11):1171-1178. (オンライン)	Original Article

小計38件

113	Yamada A, Okajima Y, Yoshizawa E, et al.	画像医学	Improvement in radiological reading efficiency and residents' education and clinical contribution using the modified reading system "Triage	Jpn J Radiol. 2018 Nov;36(11):649-660. (オンライン)	Original Article
114	Takeuchi Y, Seki T, Kobayashi N, et al.	小児科	Analysis of serum IL-38 in juvenile-onset systemic lupus erythematosus.	Mod Rheumatol. 2018 Nov;28(6):1069-1072. (オンライン)	Original Article
115	Gomi D, Fukushima T, Kobayashi T, et al.	包括的がん治療学	Gastric cancer initially presenting as bone metastasis: Two case reports and a literature review.	Oncol Lett. 2018 Nov;16(5):5863-5867. (オンライン)	Original Article
116	Kurata T, Matsuda K, Hirabayashi K, et al.	小児科	Panobinostat inhibits the proliferation of CD34(+) CD38(-) cells under stimulation of hematopoietic growth factors on AGM-S3 cells in juvenile myelomonocytic leukemia.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Nov;65(11):e27261. (オンライン)	Original Article
117	Kato A, Yasuo M, Tokoro Y, et al.	第一内科	Virtual bronchoscopic navigation as an aid to CT-guided transbronchial biopsy improves the diagnostic yield for small peripheral pulmonary lesions.	Respirology. 2018 Nov;23(11):1049-1054. (オンライン)	Original Article
118	Imamura T, Shimamura M, Ogawa T, et al.	泌尿器科	Biofabricated Structures Reconstruct Functional Urinary Bladders in Radiation-Injured Rat Bladders.	Tissue Eng Part A. 2018 Nov;24(21-22):1574-1587. (オンライン)	Original Article
119	Goto T, Hongo K, Ogiwara T, et al.	脳神経外科	Intelligent Surgeon's Arm Supporting System iArmS in Microscopic Neurosurgery Utilizing Robotic Technology.	World Neurosurg. 2018 Nov;119:e661-e665. (オンライン)	Original Article

120	Hara Y, Sonoda K, Hashimoto K, et al.	第二内科	Influence of arteriovenous fistula on daily living behaviors involving the upper limbs in hemodialysis patients: a cross-sectional questionnaire study.	BMC Nephrol. 2018 Oct 22;19(1):284.	Original Article
121	Tanaka R, Shimajima Y, Moteki H, et al.	第三内科	Propylthiouracil- induced Otitis Media with Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis.	Intern Med. 2018 Oct 15;57(20):3029-3033. (オ ンライン)	Case Reports
122	Horiuchi T, Kiuchi T, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Wrap-clipping as a rescue surgical technique for vessel perforation due to stent strut: a technical note.	Acta Neurochir (Wien). 2018 Oct;160(10):1955- 1959. (オンライン)	Original Article
123	Hanaoka Y, Ogiwara T, Kakizawa Y, et al.	脳神経外科	Calcified ectopic TSH-secreting pituitary adenoma mimicking craniopharyngioma: a rare case report and literature review.	Acta Neurochir (Wien). 2018 Oct;160(10):2001- 2005. (オンライン)	Original Article
124	Akazawa Y, Yamazaki S, Obinata H, et al.	小児科	Decreased Circulating Insulin- Like Growth Factor 1 Levels Are Associated with Cardiac Diastolic Dysfunction in Small for Gestational Age	Am J Perinatol. 2018 Oct;35(12):1178-1185. (オンライン)	Original Article
125	Moteki H, Fujinaga Y, Goto T, et al.	耳鼻咽喉科	Pneumolabyrinth, intracochlear and vestibular fluid loss after cochlear implantation.	Auris Nasus Larynx. 2018 Oct;45(5):1116-1120. (オンライン)	Case Reports
126	Shimodaira T, Matsuda K, Uchibori T, et al.	臨床検査部	Upregulation of osteopontin expression via the interaction of macrophages and fibroblasts under IL- 1b stimulation.	Cytokine. 2018 Oct;110:63-69. (オンライ ン)	Original Article
127	Sugiyama Y, Wakabayashi R, Urasawa M, et al.	麻酔科蘇生科	Perioperative Characteristics of the Accuracy of Subcutaneous Continuous Glucose Monitoring: Pilot Study in Neurosurgery and	Diabetes Technol Ther. 2018 Oct;20(10):654-661. (オンライン)	Original Article

128	Omodaka T, Kiniwa Y, Sato Y, et al.	皮膚科	Type 1 diabetes in a melanoma patient treated with ipilimumab after nivolumab.	J Dermatol. 2018 Oct;45(10):e289-e290. (オンライン)	Letter
129	Kobayashi A, Ogawa E, Matsuzaki S, et al.	皮膚科	Pediatric case of generalized pustular psoriasis developing acute pancreatitis.	J Dermatol. 2018 Oct;45(10):e278-e279. (オンライン)	Letter
130	Sato M, Uhara H, Koga H, et al.	皮膚科	Efficacy and toxicity of ipilimumab used after nivolumab in patients with melanoma.	J Dermatol. 2018 Oct;45(10):e287-e289. (オンライン)	Letter
131	Ogiwara T, Goto T, Hara Y, et al.	脳神経外科	Real-Time Navigation-Guided Drilling Technique for Skull Base Surgery in the Middle and Posterior Fossae.	J Neurol Surg B Skull Base. 2018 Oct;79(Suppl 4):S334-S339. (オンライン)	Original Article
132	Okamoto M, Kito M, Yoshimura Y, et al.	整形外科	The status quo of treatment and clinical outcomes for patients over 80 years of age with high-grade soft tissue sarcoma: report from the soft tissue tumor registry in Japan.	Jpn J Clin Oncol. 2018 Oct 1;48(10):900-905.	Original Article
133	Nagm A, Horiuchi T, Hongo K.	脳神経外科	Letter: The Preservation of Cognition 1 Year After Carotid Endarterectomy in Patients With Prior Cognitive Decline.	Neurosurgery. 2018 Oct 1;83(4):E179-E180.	Original Article
134	Hasegawa T, Ogiwara T, Nagm A, et al.	脳神経外科	Cystic Lymphocytic Hypophysitis Mimicking Pituitary Apoplexy: Daunting Challenge.	World Neurosurg. 2018 Oct;118:1-4. (オンライン)	Case Reports

135	Yamamoto S, Hotta K, Ota E, et al.	リハビリテーション部	Exercise-based cardiac rehabilitation for people with implantable ventricular assist devices.	Cochrane Database Syst Rev. 2018 Sep 30;9:CD012222.	Original Article
136	Kuwahara K, Nakagawa Y, Nishikimi T.	循環器内科	Cutting Edge of Brain Natriuretic Peptide (BNP) Research 縹-The Diversity of BNP Immunoreactivity and Its Clinical Relevance.	Circ J. 2018 Sep 25;82(10):2455-2461. (オンライン)	Original Article
137	Ishida T, Tanaka S, Sakamoto A, et al.	麻酔科蘇生科	Plasma ropivacaine concentration after TAP block in a patient with cardiac and renal failure.	Local Reg Anesth. 2018 Sep 21;11:57-60. (オンライン)	Case Reports
138	Komatsu T, Motoki H, Kimura K, et al.	心臓血管病センター	A case of thrombolytic therapy with recombinant tissue plasminogen activator for mechanical valve thrombosis at 9 weeks of pregnancy in a Japanese woman.	J Cardiol Cases. 2018 Sep 17;19(1):15-18. (オンライン)	Case Reports
139	Nitta K, Imamura H, Kashima Y, et al.	救急集中治療医学	Response to letter from Jiang: The diagnostic value of combined D-dimer with other indicators in suspected acute aortic dissection patients.	Int J Cardiol. 2018 Sep 15;267:196.	Letter
140	Fujimoto K, Yamazaki H, Uematsu A.	保健学科	Instability of nocturnal parasympathetic nerve function in patients with chronic lung disease with or without nocturnal desaturation.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2018 Sep 11;13:2841-2848. (オンライン)	Original Article
141	Nkwerem SP, Ito K, Ichinose S, et al.	脳神経外科	Resection and imbrication of symptomatic sacral Tarlov cysts: A case report and review of the literature.	Surg Neurol Int. 2018 Sep 4;9:180. (オンライン)	Case Reports

142	Nishi E, Takasugi M, Kawamura R, et al.	遺伝子医療研究センター	Clinical courses of children with trisomy 13 receiving intensive neonatal and pediatric treatment.	Am J Med Genet A. 2018 Sep;176(9):1941-1949. (オンライン)	Original Article
143	Hirano T, Kakihara S, Toriyama Y, et al.	眼科	Wide-field en face swept-source optical coherence tomography angiography using extended field imaging in diabetic retinopathy.	Br J Ophthalmol. 2018 Sep;102(9):1199-1203. (オンライン)	Original Article
144	Komatsu D, Yamada A, Suzuki T, et al.	画像医学	Compartment model analysis of intravenous contrast-enhanced dynamic computed tomography in hepatic hemodynamics: A validation study using intra-arterial contrast-enhanced	Hepato Res. 2018 Sep;48(10):829-838. (オンライン)	Original Article
145	Shigemura T, Nakazawa Y, Yoshikawa T, et al.	小児科	Severe acyclovir-resistant herpes simplex virus 1 infection following cord blood transplantation.	Int J Hematol. 2018 Sep;108(3):237-238. (オンライン)	Case Reports
146	Joshita S, Yoshizawa K, Umemura T, et al.	第二内科	Clinical features of autoimmune hepatitis with acute presentation: a Japanese nationwide survey.	J Gastroenterol. 2018 Sep;53(9):1079-1088. (オンライン)	Original Article
147	Koizumi T, Shetty V, Yamaguchi M.	包括的がん治療学	Salivary cytokine panel indicative of non-small cell lung cancer.	J Int Med Res. 2018 Sep;46(9):3570-3582. (オンライン)	Original Article
148	Yamaori S, Araki N, Shionoiri M, et al.	薬剤部	A Specific Probe Substrate for Evaluation of CYP4A11 Activity in Human Tissue Microsomes and a Highly Selective CYP4A11 Inhibitor: Luciferin-4A and Epalrestat.	J Pharmacol Exp Ther. 2018 Sep;366(3):446-457. (オンライン)	Original Article

小計38件

149	Nishizawa H, Shiba N, Nakamura A.	保健学科	Importance of long-term motor function evaluation after prednisolone treatment for Duchenne muscular dystrophy.	J Phys Ther Sci. 2018 Sep;30(9):1211-1214. (オンライン)	Case Reports
150	Suzuki T, Nakamura Y, Kato H.	整形外科	Significant improvement of bone mineral density by denosumab without bisphosphonate pre-treatment in glucocorticoid-induced osteoporosis.	Mod Rheumatol. 2018 Sep;28(5):885-889. (オンライン)	Original Article
151	Yanagisawa R, Kubota N, Hidaka E, et al.	輸血部	Cisplatin-induced nephrotoxicity in patients with advanced neuroblastoma.	Pediatr Blood Cancer. 2018 Sep;65(9):e27253. (オンライン)	Letter
152	Yanagisawa T, Nakamura T.	小児科	Survey of hospitalization for respiratory syncytial virus in Nagano, Japan.	Pediatr Int. 2018 Sep;60(9):835-838. (オンライン)	Original Article
153	Hirano T, Toriyama Y, Iesato Y, et al.	眼科	CHANGES IN PLASMA VASCULAR ENDOTHELIAL GROWTH FACTOR LEVEL AFTER INTRAVITREAL INJECTION OF BEVACIZUMAB, AFLIBERCEPT, OR RANIBIZUMAB FOR DIABETIC MACULAR EDEMA.	Retina. 2018 Sep;38(9):1801-1808.	Original Article
154	Usuda M, Kodaira M, Ogawa Y, et al.	第三内科	Fluctuating CSF hypocretin-1 levels in mild brain trauma-induced Kleine-Levin syndrome.	J Neurol Sci. 2018 Aug 15;391:10-11. (オンライン)	Case Reports
155	Yamazaki T, Umemura T, Joshita S, et al.	第二内科	A cis-eQTL of HLA-DPB1 Affects Susceptibility to Type 1 Autoimmune Hepatitis.	Sci Rep. 2018 Aug 9;8(1):11924.	Original Article

156	Nagm A, Goto T, Ogiwara T, et al.	脳神経外科	Endoscopic transpalpebral transorbital anterior petrosectomy: does "safer surgical freedoms" necessitates modifications?	Acta Neurochir (Wien). 2018 Aug;160(8):1583- 1584. (オンライン)	Letter
157	Moteki H, Isaka Y, Inaba Y, et al.	耳鼻咽喉科	A rational approach to identifying newborns with hearing loss caused by congenital cytomegalovirus infection by dried blood spot screening.	Acta Otolaryngol. 2018 Aug;138(8):708-712. (オ ンライン)	Original Article
158	Miura T, Miyashita Y, Soga Y, et al.	循環器内科	Drug-Eluting Versus Bare-Metal Stent Implantation With or Without Cilostazol in the Treatment of the Superficial Femoral Artery.	Circ Cardiovasc Interv. 2018 Aug;11(8):e006564.	Original Article
159	Wakabayashi SI, Kimura T, Tanaka N, et al.	第二内科	Emergence of anti- mitochondrial M2 antibody in patient with angiimmunoblastic T-cell lymphoma.	Clin J Gastroenterol. 2018 Aug;11(4):302-308. (オン ライン)	Case Reports
160	Suzuki T, Nakamura Y, Kato H.	整形外科	Determination of serum bone-related minerals during denosumab treatment in osteoporosis patients with rheumatoid arthritis: Mineral change by denosumab in osteoporosis with rheumatoid arthritis.	Clin Nutr ESPEN. 2018 Aug;26:53-56.	Original Article
161	Yamada A, Fujinaga Y, Suzuki T, et al.	画像医学	Quantitative estimation of progression of chronic liver disease using gadoxetate disodium-enhanced magnetic resonance imaging.	Hepatol Res. 2018 Aug;48(9):735-745. (オン ライン)	Original Article
162	Edamitsu T, Uhara H, Minagawa A, et al.	皮膚科	Multiple melanonychia striata as a sign of connective tissue disorders.	J Am Acad Dermatol. 2018 Aug;79(2):375-377. (オン ライン)	Original Article

163	Nasuno M, Shigemura T, Nakazawa Y, et al.	小児科	Postencephalitic epilepsy secondary to cytomegalovirus encephalitis.	Pediatr Int. 2018 Aug;60(8):758-760. (オン ライン)	Case Reports
164	Nakazawa H, Nishina S, Senoo Y, et al.	第二内科	Breakthrough Candida guilliermondii (Meyerozyma guilliermondii) fungemia after cord blood transplantation for extranodal NK- cell lymphoma with azole prophylaxis.	Transpl Infect Dis. 2018 Aug;20(4):e12922. (オン ライン)	Case Reports
165	Nagm A, Horiuchi T, Hongo K.	脳神経外科	Letter to the Editor Regarding "Minimally Invasive Approaches for Anterior Skull Base Meningiomas: Supraorbital Eyebrow, Endoscopic Endonasal, or Combination of Both? Anatomic Study, Limitations, and	World Neurosurg. 2018 Aug;116:474.	Letter
166	Takasone K, Kobayashi C, Katoh N, et al.	第三内科	[A 36-year-old woman with primary central nervous system lymphoma diagnosed by twice brain biopsies, showing relapsing and remitting brain	Rinsho Shinkeigaku. 2018 Jul 27;58(7):440-444. (オ ンライン)	Case Reports
167	Nkwerem S, Horiuchi T, Nishikawa A, et al.	脳神経外科	Diploic mature teratoma originating from the orbital roof: An extremely rare case report.	Surg Neurol Int. 2018 Jul 26;9:151. (オンライン)	Case Reports
168	Uehara M, Nakamura Y, Takahashi J, et al.	整形外科	Efficacy of denosumab therapy for neurofibromatosis type 1 with osteoporosis and history of fractures: a case report.	Ther Clin Risk Manag. 2018 Jul 16;14:1243- 1246. (オンライン)	Case Reports
169	Senda K, Miura T, Minamisawa M, et al.	循環器内科	Predictive Value of Underweight Status for Patients With Peripheral Artery Disease With Claudication.	Angiology. 2018 Jul;69(6):513-522. (オン ライン)	Original Article

170	Hanamura T, Hayashi SI.	第二外科	Overcoming aromatase inhibitor resistance in breast cancer: possible mechanisms and clinical applications.	Breast Cancer. 2018 Jul;25(4):379-391. (オンライン)	Original Article
171	Ebisawa S, Ueki Y, Mochidome T, et al.	循環器内科	Comparison of platelet aggregation response in switching regimen from prasugrel to clopidogrel between CYP2C19 extensive versus non-extensive	Cardiovasc Interv Ther. 2018 Jul;33(3):277-284. (オンライン)	Other
172	Okamura T, Iwaya Y, Kitahara K, et al.	第二内科	Accuracy of Endoscopic Diagnosis for Mild Atrophic Gastritis Infected with Helicobacter pylori.	Clin Endosc. 2018 Jul;51(4):362-367. (オンライン)	Original Article
173	Hachiya A, Kobayashi N, Matsuzaki S, et al.	小児科	Analysis of biomarker serum levels in IVIG and infliximab refractory Kawasaki disease patients.	Clin Rheumatol. 2018 Jul;37(7):1937-1943. (オンライン)	Original Article
174	Fujii Y, Muragaki Y, Maruyama T, et al.	脳神経外科	Threshold of the extent of resection for WHO Grade III gliomas: retrospective volumetric analysis of 122 cases using intraoperative MRI.	J Neurosurg. 2018 Jul;129(1):1-9. (オンライン)	Original Article
175	Tomioka I, Nagai Y, Seki K.	第三内科	Developing biomarkers for neurodegenerative diseases using genetically-modified common marmoset models.	Neural Regen Res. 2018 Jul;13(7):1189-1190.	Original Article
176	Harada M, Motoki H, Kashima Y, et al.	循環器内科	T-wave alternans in a case with systemic lupus erythematosus-related myocarditis.	J Cardiol Cases. 2018 Jun 23;18(4):119-122. (オンライン)	Case Reports
177	Hirano T, Chanwimol K, Weichsel J, et al.	眼科	Distinct Retinal Capillary Plexuses in Normal Eyes as Observed in Optical Coherence Tomography Angiography Axial Profile Analysis.	Sci Rep. 2018 Jun 20;8(1):9380.	Original Article

178	Sugiyama Y, Kiuchi C, Suzuki M, et al.	麻酔科蘇生科	Glucose Management during Insulinoma Resection Using Real-Time Subcutaneous Continuous Glucose Monitoring.	Case Rep Anesthesiol. 2018 Jun 7;2018:6248467. (オンライン)	Case Reports
179	Wada Y, Kitaguchi Y, Yasuo M, et al.	第一内科	Diversity of respiratory impedance based on quantitative computed tomography in patients with COPD.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2018 Jun 5;13:1841-1849. (オンラ イン)	Original Article
180	Sugiyama Y, Gotoh S, Urasawa M, et al.	麻酔科蘇生科	Hemodynamic Response to Massive Bleeding in a Patient with Congenital Insensitivity to Pain with Anhidrosis.	Case Rep Anesthesiol. 2018 Jun 3;2018:9593458. (オンライン)	Case Reports
181	Horiuchi T, Miyaoka Y, Hasegawa T, et al.	脳神経外科	Usefulness of venous catheter as an intraluminal stent for end-to-end venous anastomosis.	Acta Neurochir (Wien). 2018 Jun;160(6):1139- 1141. (オンライン)	Original Article
182	Nishioka M, Inaba Y, Motobayashi M, et al.	小児科	An infant case of diffuse cerebrospinal lesions and cardiomyopathy caused by a BOLA3 mutation.	Brain Dev. 2018 Jun;40(6):484-488. (オン ライン)	Case Reports
183	Fukushima T, Wakatsuki Y, Kobayashi T, et al.	包括的がん治療学	Phase II study of cisplatin/pemetrexed combined with bevacizumab followed by pemetrexed/bevacizu mab maintenance therapy in patients with EGFR-wild advanced non- squamous non-small	Cancer Chemother Pharmacol. 2018 Jun;81(6):1043-1050. (オ ンライン)	Original Article
184	Asaka S, Yoshizawa A, Saito K, et al.	臨床検査部	Rapid point-of-care testing for epidermal growth factor receptor gene mutations in patients with lung cancer using cell-free DNA from cytology specimen supernatants.	Int J Oncol. 2018 Jun;52(6):2110-2118. (オ ンライン)	Original Article

小計38件

185	Komatsu M, Uchiyama S, Kimura T, et al.	整形外科	Recurrent Cubital Tunnel Syndrome Caused by Ganglion: A Report of Nine Cases.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2018 Jun;23(2):210- 216.	Original Article
186	Gomibuchi T, Okada K, Seto T, et al.	循環器外科	Valve-sparing aortic root replacement after double-switch operation for corrected transposition of the great arteries in a patient with	J Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Jun;155(6):e175- e176. (オンライン)	Original Article
187	Suzuki T, Nakamura Y, Kato H.	整形外科	Efficacy, safety, and compliance of ibandronate treatment for 3 years in postmenopausal Japanese women with primary osteoporosis.	Osteoporos Sarcopenia. 2018 Jun;4(2):69-72. (オ ンライン)	Original Article
188	Matsuoka D, Hidaka Y, Kurozumi M, et al.	小児科	Childhood asymptomatic renal arteriovenous fistula 5ツ・years after renal biopsy.	Pediatr Int. 2018 Jun;60(6):601-602. (オン ライン)	Case Reports
189	Guo X, Kashihara T, Nakada T, et al.	薬剤部	PDGF-induced migration of synthetic vascular smooth muscle cells through c-Src-activated L- type Ca(2+) channels with full-length Ca(V)1.2 C-terminus.	Pflugers Arch. 2018 Jun;470(6):909-921. (オ ンライン)	Original Article
190	Yamamoto S, Ishida T, Misawa K, et al.	リハビリテーション部	The simple method for predicting metabolic equivalents using heart rate in patients with cardiovascular disease.	Int J Cardiol Heart Vasc. 2018 May 30;19:88-89. (オンライン)	Original Article
191	Minamisawa M, Miura T, Motoki H, et al.	循環器内科	Geriatric Nutritional Risk Index Predicts Cardiovascular Events in Patients at Risk for Heart Failure.	Circ J. 2018 May 25;82(6):1614-1622. (オ ンライン)	Original Article

192	Akagawa Y, Ueno A, Ikeda J, et al.	第三内科	[Two patients with progressive multifocal leukoencephalopathy with immune response against JC virus showing good long-term outcome by combination therapy of mefloquine, mirtazapine, and risperidone].	Rinsho Shinkeigaku. 2018 May 25;58(5):324-331. (オンライン)	Case Reports
193	Joshita S, Umemura T, Usami Y, et al.	第二内科	Serum Autotaxin Is a Useful Disease Progression Marker in Patients with Primary Biliary Cholangitis.	Sci Rep. 2018 May 25;8(1):8159.	Original Article
194	Morokawa H, Kamiya M, Wakui K, et al.	小児科	Myelodysplastic syndrome in an infant with constitutional pure duplication 1q41-qter.	Hum Genome Var. 2018 May 21;5:6. (オンライン)	Case Reports
195	Nakamura Y, Kamimura M, Koiwai H, et al.	整形外科	Adequate nutrition status important for bone mineral density improvement in a patient with anorexia nervosa.	Ther Clin Risk Manag. 2018 May 18;14:945-948. (オンライン)	Case Reports
196	Motoyama H, Kobayashi A, Yokoyama T, et al.	第一外科	Treatment with specific soluble factors promotes the functional maturation of transcription factor-mediated, pancreatic transdifferentiated	PLoS One. 2018 May 16;13(5):e0197175. (オンライン)	Original Article
197	Uehara M, Nakamura Y, Takahashi J, et al.	整形外科	Efficacy of denosumab in two cases with multiple-system atrophy and osteoporosis.	Ther Clin Risk Manag. 2018 May 3;14:817-822. (オンライン)	Original Article
198	Tensho K, Shimodaira H, Akaoka Y, et al.	整形外科	Lateralization of the Tibial Tubercle in Recurrent Patellar Dislocation: Verification Using Multiple Methods to Evaluate the Tibial Tubercle.	J Bone Joint Surg Am. 2018 May 2;100(9):e58.	Original Article

199	Muranaka F, Nakajima T, Iwaya M, et al.	外科	A Comparative Immunohistochemical Study of Anal Canal Epithelium in Humans and Swine, Focusing on the Anal Transitional Zone Epithelium and the	Anat Rec (Hoboken). 2018 May;301(5):796-805. (オンライン)	Other
200	Uehara M, Takahashi J, Ikegami S, et al.	整形外科	Thoracic aortic aneurysm is an independent factor associated with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis.	Bone Joint J. 2018 May 1;100-B(5):617-621.	Original Article
201	Oba T, Ono M, Iesato A, et al.	第二外科	Chylous leakage after axillary lymph node dissection in a patient with breast cancer.	Breast J. 2018 May;24(3):438-440. (オンライン)	Case Reports
202	Ogawa T, Ishizuka O, Ueda T, et al.	泌尿器科	Pharmacological management of interstitial cystitis /bladder pain syndrome and the role cyclosporine and other immunomodulating	Expert Rev Clin Pharmacol. 2018 May;11(5):495-505. (オンライン)	Original Article
203	Nitta K, Imamura H, Kashima Y, et al.	救急集中治療医学	Impact of a negative D-dimer result on the initial assessment of acute aortic dissection.	Int J Cardiol. 2018 May 1;258:232-236. (オンライン)	Original Article
204	Minagawa T, Gotoh M, Yokoyama O, et al.	泌尿器科	Therapeutic effect of propiverine hydrochloride on mixed-type urinary incontinence in women: The Female Urgency and Stress Urinary Incontinence Study of Propiverine Hydrochloride trial.	Int J Urol. 2018 May;25(5):486-491. (オンライン)	Original Article
205	Hamano H, Tanaka E, Ishizaka N, et al.	医療情報部	IgG4-related Disease - A Systemic Disease that Deserves Attention Regardless of One's Subspecialty.	Intern Med. 2018 May 1;57(9):1201-1207. (オンライン)	Original Article

206	Kiniwa Y, Nakamura K, Mikoshiha A, et al.	皮膚科	Diversity of circulating tumor cells in peripheral blood: Detection of heterogeneous BRAF mutations in a patient with advanced melanoma by single-cell analysis.	J Dermatol Sci. 2018 May;90(2):211-213. (オンライン)	Case Reports
207	Unzaki A, Morisada N, Nozu K, et al.	遺伝子医療研究センター	Clinically diverse phenotypes and genotypes of patients with branchio-otorenal syndrome.	J Hum Genet. 2018 May;63(5):647-656. (オンライン)	Original Article
208	Yamazaki T, Joshita S, Kasuga E, et al.	第二内科	A case of liver abscess co-infected with <i>Desulfovibrio desulfuricans</i> and <i>Escherichia coli</i> and review of the literature.	J Infect Chemother. 2018 May;24(5):393-397. (オンライン)	Case Reports
209	Kakihara S, Hirano T, Iesato Y, et al.	眼科	Extended field imaging using swept-source optical coherence tomography angiography in retinal vein occlusion.	Jpn J Ophthalmol. 2018 May;62(3):274-279. (オンライン)	Original Article
210	Oba T, Ito KI.	第二外科	Combination of two anti-tubulin agents, eribulin and paclitaxel, enhances anti-tumor effects on triple-negative breast cancer through mesenchymal-epithelial transition.	Oncotarget. 2018 May 1;9(33):22986-23002. (オンライン)	Original Article
211	Yasuo M, Kitaguchi Y, Kinota F, et al.	第一内科	Usefulness of the forced oscillation technique in assessing the therapeutic result of tracheobronchial central airway obstruction.	Respir Investig. 2018 May;56(3):222-229. (オンライン)	Original Article

212	Ikegami S, Takahashi J, Misawa H, et al.	整形外科	Spinal cord MRI signal changes at 1 year after cervical decompression surgery is useful for predicting midterm clinical outcome: an observational study using propensity scores.	Spine J. 2018 May;18(5):755-761. (オ ンライン)	Original Article
213	Mutai H, Furukawa T, Wakabayashi A, et al.	保健学科	Functional outcomes of inpatient rehabilitation in very elderly patients with stroke: differences across three age groups.	Top Stroke Rehabil. 2018 May;25(4):269-275. (オ ンライン)	Original Article
214	Nakada T, Kashihara T, Komatsu M, et al.	薬剤部	Physical interaction of junctophilin and the Ca(V)1.1 C terminus is crucial for skeletal muscle contraction.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Apr 24;115(17):4507-4512. (オンライン)	Original Article
215	Sonehara K, Shomura T, Yasuo M, et al.	第一内科	Successful ventilator weaning following vascular bypass in patient with vascular tracheobronchial compression.	Respirol Case Rep. 2018 Apr 20;6(5):e00320. (オ ンライン)	Case Reports
216	Takeuchi D, Koide N, Suzuki A, et al.	外科	High incidence of other primary malignancies in patients with synchronous multiple gastric cancers "a multi-center retrospective cohort	Oncotarget. 2018 Apr 17;9(29):20605-20616. (オンライン)	Original Article
217	Saito H, Umemura T, Joshita S, et al.	第二内科	KIR2DL2 combined with HLA-C1 confers risk of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma in younger patients.	Oncotarget. 2018 Apr 13;9(28):19650-19661. (オンライン)	Original Article
218	Saito H, Hirayama A, Umemura T, et al.	第二内科	Association between KIR-HLA combination and ulcerative colitis and Crohn's disease in a Japanese population.	PLoS One. 2018 Apr 12;13(4):e0195778. (オン ライン)	Original Article

219	Kimura T, Tanaka N, Fujimori N, et al.	第二内科	Mild drinking habit is a risk factor for hepatocarcinogenesis in non-alcoholic fatty liver disease with advanced fibrosis.	World J Gastroenterol. 2018 Apr 7;24(13):1440-1450.	Other
220	Yamazaki T, Joshita S, Umemura T, et al.	第二内科	Changes in serum levels of autotaxin with direct-acting antiviral therapy in patients with chronic hepatitis C.	PLoS One. 2018 Apr 4;13(4):e0195632. (オンライン)	Original Article
221	Horiuchi T, Ichinose S, Agata M, et al.	脳神経外科	STA-ACA bypass using the ipsilateral free STA graft as an interposition graft and A3-A3 anastomosis for treatment of bilateral ACA steno-occlusive	Acta Neurochir (Wien). 2018 Apr;160(4):779-782. (オンライン)	Original Article
222	Hirabayashi K, Yanagisawa R, Saito S, et al.	先端細胞治療センター	Feasibility and Immune Response of WT1 Peptide Vaccination in Combination with OK-432 for Paediatric Solid Tumors.	Anticancer Res. 2018 Apr;38(4):2227-2234.	Original Article
223	Yanagisawa R, Koizumi T, Koya T, et al.	先端細胞治療センター	WT1-pulsed Dendritic Cell Vaccine Combined with Chemotherapy for Resected Pancreatic Cancer in a Phase I Study.	Anticancer Res. 2018 Apr;38(4):2217-2225.	Original Article
224	Yamada SI, Otsuru M, Yanamoto S, et al.	特殊歯科・口腔外科	Progression level of extracapsular spread and tumor budding for cervical lymph node metastasis of OSCC.	Clin Oral Investig. 2018 Apr;22(3):1311-1318. (オンライン)	Original Article
225	Saida T.	皮膚科	[Melanoma and Non-Melanoma Skin Cancers].	Gan To Kagaku Ryoho. 2018 Apr;45(4):612-613. Japanese. No abstract available.	Original Article
226	Zhai L, Sakurai T, Kamiyoshi A, et al.	循環器内科	Endogenous calcitonin gene-related peptide suppresses ischemic brain injuries and progression of cognitive decline.	J Hypertens. 2018 Apr;36(4):876-891.	Original Article

小計38件

227	Minagawa T, Fukui D, Shingu K, et al.	泌尿器科	Intraoperative detection of inferior vena caval tumor thrombus extending from metastatic lymph node of renal cell carcinoma using ultrasonography.	J Med Ultrason (2001). 2018 Apr;45(2):367-370. (オンライン)	Case Reports
228	Nishizawa H, Matsukiyo A, Shiba N, et al.	保健学科	The effect of wearing night splints for one year on the standing motor function of patients with Duchenne muscular dystrophy.	J Phys Ther Sci. 2018 Apr;30(4):576-579. (オン ライン)	Original Article
229	Kumaki D, Nakamura Y, Sakai N, et al.	整形外科	Efficacy of Denosumab for Glucocorticoid- Induced Osteoporosis in an Adolescent Patient with Duchenne Muscular Dystrophy: A Case	JBJS Case Connect. 2018 Apr-Jun;8(2):e22.	Original Article
230	Kurozumi M, Fujinaga Y, Kitou Y, et al.	画像医学	Evaluation of hemodynamic imaging findings of hypervascular hepatocellular carcinoma: comparison between dynamic contrast- enhanced magnetic resonance imaging using radial volumetric imaging breath-hold examination with k- space-weighted image contrast reconstruction and dynamic computed tomography du...	Jpn J Radiol. 2018 Apr;36(4):295-302. (オン ライン)	Other
231	Kinugawa Y, Uehara T, Matsuda K, et al.	臨床検査部	Promoter hypomethylation of SKI in autoimmune pancreatitis.	Pathol Res Pract. 2018 Apr;214(4):492-497. (オ ンライン)	Original Article
232	Natsume T, Takano K, Motobayashi M, et al.	小児科	Hepatomegaly in a boy with ARID1B- related Coffin-Siris syndrome.	Pediatr Int. 2018 Apr;60(4):378-380. (オン ライン)	Case Reports

233	Suzuki T, Nakamura Y, Kamimura M, et al.	整形外科	Denosumab significantly improves lumbar spine bone mineral density more in treatment-naïve than in long-term bisphosphonate-treated patients.	Bone Rep. 2018 Mar 17;8:110-114. (オンライン)	Original Article
234	Nakamura Y, Suzuki T, Yamazaki H, et al.	整形外科	Tofacitinib Versus Non-Tumor Necrosis Factor Biologics for Patients With Active Rheumatoid Arthritis.	Arch Rheumatol. 2017 Oct 13;33(2):154-159. (オンライン)	Original Article

小計12件

計234件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ①「臨床研究に関する標準業務手順書」・・・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、国立大学法人信州大学医学部・附属病院における研究者が主導して行う人を対象とする医学系研究の実施に必要な手続きと運営に関する手順を定めている。 ②「倫理審査申請の手順」・・・倫理審査申請から承認、研究の実施までの流れを定めている。 ③「他の研究機関からの審査依頼に関する標準業務手順書」・・・他の研究機関の長から人を対象とする医学系研究の審議を依頼された場合の手順を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規程による	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年数回 (適宜)

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 ~ 2 回
・ 研修の主な内容 倫理委員の外部研修への参加 eAPRINのe-learning受講による教育研修 (研究者・倫理委員は受講修了が必須)	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

後期研修

内科学 (1) (呼吸器・感染症・アレルギー内科) 大学院・専門医コース, 呼吸器専門医・感染症専門医・アレルギー専門医コース, 消化器 (肝・胆膵・消化管) 専門医コース, 血液内科専門医コース, 腎臓・透析専門医コース, 神経内科専門医コース, リウマチ・膠原病内科専門医コース, 脳神経内科学大学院コース, リウマチ・膠原病内科学大学院コース, 大学院・研究コース, 臨床コース, 一般循環器内科コース, 循環器内科サブスペシャリティ取得コース, 大学院・研究コース, 一般精神医学コース, 大学院・研究コース, 精神科サブスペシャリティ取得コース, 小児科専門研修プログラム, 一般皮膚科コース, 大学院・研究コース, 皮膚科サブスペシャリティ取得コース, 放射線科専門医コース, 放射線診断専門医コース, 放射線治療専門医コース, 外科コース, 一般整形外科コース, 大学院・研究コース, 整形外科サブスペシャリティ取得コース, 脳神経外科専門医コース, 泌尿器科コース, 眼科専門医コース, 専門医コース, 一般産婦人科医学コース, 研究コース, 産婦人科サブスペシャリティ取得コース, 麻酔科専門医コース その1 (卒後臨床研修2年終了後、大学院・学位取得), 麻酔科専門医コース その2 (卒後臨床研修2年終了後、大学院・関連病院間連携), 形成外科専門医コース, 一般救急・集中治療医コース, 大学院・研究コース, 病理・検査専門医コース, 臨床遺伝専門医コース, 精神科サブスペシャリティ取得コース, がんプロ養成基盤推進プラン (大学院・専門医コース), 腫瘍内科・放射線治療専門医コース, がん治療短期研修コース, 特殊歯科・口腔外科アドバンストコース

専攻医研修 (基本領域)

内科専門研修プログラム、精神科専門研修プログラム、小児科専門研修プログラム、皮膚科専門研修プログラム、放射線科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム、整形外科専門研修プログラム、脳神経外科専門研修プログラム、泌尿器科専門研修プログラム、眼科専門研修プログラム、耳鼻咽喉科専門研修プログラム、産婦人科専門研修プログラム、麻酔科専門研修プログラム、形成外科専門研修プログラム、救急科専門研修プログラム、リハビリテーション科専門研修プログラム、臨床検査専門研修プログラム、病理専門研修プログラム

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	121	人
-------------	-----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症 内科	教授	29 年	
田中 榮司	消化器内科 血液内科	教授	40 年	
上條 祐司	腎臓内科	専門診療科長	24 年	
中澤 英之	血液内科	専門診療科長	17 年	
関島 良樹	脳神経内科	教授	27 年	
下島 恭弘	リウマチ・膠原 病内科	准教授	19 年	

駒津 光久	糖尿病・内分泌 代謝内科	教授	32年	
桑原 宏一郎	循環器内科	教授	27年	
鷺塚 伸介	精神科	教授	24年	
中沢 洋三	小児科	教授	22年	
奥山 隆平	皮膚科	教授	29年	
藤永 康成	放射線科	准教授	25年	
小林 聡	消化器外科 移植外科 小児外科	准教授	28年	
瀬戸 達一郎	心臓血管外科	准教授	23年	
伊藤 研一	乳腺・内分泌外 科、呼吸器外科	教授	30年	
加藤 博之	整形外科	教授	38年	
本郷 一博	脳神経外科	教授	39年	
栗田 浩	特殊歯科・口腔 外科	教授	31年	
石塚 修	泌尿器科	教授	34年	
村田 敏規	眼科	教授	32年	
宇佐美 真一	耳鼻いんこう科	教授	37年	
塩沢 丹里	産科婦人科	教授	32年	
川眞田 樹人	麻酔科蘇生科	教授	32年	
杠 俊介	形成外科	准教授	29年	
今村 浩	救急科	教授	31年	
堀内 博志	リハビリテーシ ョン科	職付・特定雇用教 授	26年	
上原 剛	病理診断科	准教授	21年	
本田 孝行	臨床検査部	教授	37年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容 医療機器研修 人工心肺装置及び補助循環装置 血液浄化装置 人工呼吸器 除細動器 閉鎖式保育器の研修を実施</p> <p>・研修の期間・実施回数 各機器に対して年2回以上実施 全14回</p> <p>・研修の参加人数 開催する部門でことなるが各回10～15名程度</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容 ①看護職の管理者（師長等）を対象とした目標管理，②看護職の管理者（副師長）を対象とした看護サービス管理に関する研修を実施</p> <p>・研修の期間・実施回数 ①目標管理：6/16、11/3、他、全5回 看護マネジメントリフレクション：全2回 ②看護サービスを考える：5/29、7/3、12/10 全3回 SWOT分析を学ぶ：6/5、8/3 全2回</p> <p>・研修の参加人数 ①目標管理：延べ29名 看護マネジメントリフレクション：延べ53名 ②看護サービスを考える：延べ39名 SWOT分析を学ぶ：延べ42名</p>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<p>・研修の主な内容</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>・研修の参加人数</p>

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 本田 孝行
管理担当者氏名	副病院長（事務担当） 内川 俊行 総務課長 内川 俊行 経営管理課長 常見 和彦 経営推進課長 犬飼 一範 医事課長 丸山 政紀 医療支援課長 達家 孝男

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十一条の第三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課 診療録管理室	電子化されている諸記録は、電子カルテシステムおよび部門システム内で管理している。紙媒体の諸記録は、診療録管理室が管理する記録保管庫で管理している。 また診療録の本院外への持ち出しについては、「信州大学医学部附属病院診療録閲覧・貸出要項」により禁止している。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の第三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課	
		高度の医療の研修の実績	医学部	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	電子化されている記録は感染制御室及び医事課医療安全係のシステム内で管理している。かつ紙媒体でも学内ルールにより5年間保存している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課
		監査委員会の設置状況	医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人本部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 本田 孝行
閲覧担当者氏名	副病院長(事務担当) 内川 俊行 総務課長 内川 俊行 経営管理課長 常見 和彦 経営推進課長 犬飼 一範 医事課長 丸山 政紀 医療支援課長 達家 孝男
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要	閲覧希望者より申請があった際には、総務課にて記録を閲覧させている。

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理に関する基本的な考え方 医療安全管理のため組織に関する基本的事項 医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 医療安全管理の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 医療事故発生時の対応に関する基本方針 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 患者からの相談への対応に関する基本方針 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（有） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療事故の防止対策の検討及び推進，並びに再発防止策の提言 医療事故防止のための教育及び研修に関する事項 死亡例及びインシデント事例の報告状況の確認及び指導 医療事故防止マニュアルの改訂 各委員会などへの指導と連携 （輸血療法委員会，病院情報システム委員会，臨床工学部会議，医薬品情報管理室との連絡会議，など） 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年13回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 新採用者医療安全職員研修：医療安全の基本的な考え方とグループワーク 部署医療安全管理者研修：リスクマネージャーの役割を学ぶ AEDを用いた一次救命処置（BLS）の講義と実技 医療情報に対する心構え：改正個人情報保護法，次世代医療基盤法 医療安全・感染制御室合同研修 急変時シミュレーション研修 集合研修 超音波ガイド下中心静脈穿刺 医療事故の当事者から学ぶこと 正しい弾性ストッキングとフットポンプの使用法 苦情の発生と対応・医療事故後の対話とは 医薬品を安全に使用するために：薬のインシデント事例を考え，再発防止に取り組もう 医療安全推進週間記念講演（医療安全における報告文化の重要性） 転倒・転落事故防止研修：各部署でのグループワーク 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理室ニュースによる注意喚起と周知徹底及びWEBでの周知 院内の関連会議での自院及び他病院の事例の紹介（情報共有）による注意喚起 各部署での医療安全に係わる改善・対策プランの作成を部署医療安全管理者会議で周知徹底 医薬品情報管理室や臨床工学部との連携による安全管理の徹底 インシデント報告の中の重要事例について院内ラウンド・現状を調査 	

し、必要に応じてワーキンググループを立ち上げ、マニュアルやルールを作成する（オカレンス基準策定ワーキンググループ、インスリン療法におけるスライディングスケールWG、面会に関する取決めを策定するWG）
院内ラウンドによる安全管理状況の確認及び指導など

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療関連感染対策に関する基本的な考え方 感染対策委員会の設置 医療関連感染対策に関する職員研修 医療関連感染発生時の対応 医療関連感染対策ガイドライン 患者等に対する当該指針の閲覧及び情報提供と説明に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 抗菌薬使用動向報告 JANIS検査部門還元情報報告 医療関連感染に関する啓発及び職員研修の企画、実施 感染対策委員会内規、感染制御室内規、抗菌薬適正使用支援チーム要項、医療関連感染ガイドライン等の改訂についての審議 アウトブレイク事象についての対応、職員への周知 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム等）についての実施及び報告 医療関連感染サーベイランス（デバイス関連、耐性菌、プロセス等）についての実施及び報告 院内ラウンドの実施及び報告、改善活動報告 感染防止対策地域連携加算に基づく相互チェックの実施及び報告 その他感染管理に関する事項の検討、審議、決定 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年7回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 医療関連感染対策に関するオリエンテーション：新規採用者・中途採用者・復帰者 抗菌薬適正使用：全職員、委託業者 手指衛生と環境整備：全職員、委託業者 外部講師講演会「AMR対策とその周辺」：全職員 冬の感染症対策：全職員、委託業者 海外から持ち込まれる怖い感染症：全職員、委託業者 研修医クルズス「抗菌薬の考え方基本編」：全職員（主に研修医） DVD研修：上記研修の未受講（年2回参加に満たない職員） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備（有） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 耐性菌サーベイランスの実施とフィードバック 結核の接触者健診実施 アウトブレイク対応（MRSA、インフルエンザ） ICTラウンド及び環境ラウンドの実施：コンサルテーション、フィードバック、改善報告の確認 リンクナース会の活動（手指衛生遵守率向上に向けた取り組み） 職員の血液・体液曝露サーベイランスの実施、情報提供 患者又は家族へ感染に関わる情報を提供、共有し、理解を得た上で協力を求める 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 薬剤管理研修「医薬品を安全に使用するために～薬のインシデント事例を考え、再発防止に取り組もう～」 2018/10/31(水)、118名、DVD研修</p> <p>2) 「医療用麻薬・向精神薬取り扱い、管理説明会」(2018/8/8～2018/10/25 各病棟カンファレンスルーム等で計19回開催、計313名)</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>1) 医薬品の採用・購入手順に基づいた薬事委員会の開催および適正購入の実施</p> <p>2) 医薬品管理手順に基づいた医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施</p> <p>3) 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施</p> <p>4) 医薬品情報の収集および提供の実施</p> <p>5) 保険調剤薬局との連携など</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)：</p> <p>1) AZTシロップを用いたHIV母子感染予防</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 医薬品安全管理に係る内容の見直しおよび医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底</p> <p>2) 医薬品の安全管理に係る必要研修内容の調査・検討と実施</p> <p>3) 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 (メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、簡易版を作成し、医療安全管理室ニュースと合わせて配布及び回覧をしている。また、部署医療安全管理者会議にて冊子を案内・配布している。)</p> <p>4) 医薬品情報管理室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的(月1回)な連絡会議開催 (院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じる)</p> <p>5) 院内での医薬品副作用報告体制の整備 (電子カルテシステムからの副作用報告を可能とし、周知をおこなった。)</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年14回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 新規機器の導入時の研修 特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺及び補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置、CTエックス線装置、MRI装置）の研修 AED等必要な機器の研修 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 年1回を基本とした定期点検 消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)： ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> Webサイトへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者は副病院長（危機管理担当）が担っており、同時に医療安全管理部門の責任者及び医療安全管理委員長となり、医療の安全に関することを統括管理している。 また、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、医療安全管理委員会の構成員となり医療安全に関する報告を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>1) 月1回の医薬品情報管理室（医薬品情報室主任、病棟主任、医薬品安全管理者）と医療安全管理室による連絡会議では、院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じている。検討した内容は、医療安全管理委員会で審議したのち、部署医療安全管理者会議で報告、周知している。</p> <p>2) 薬事委員会において、副作用症例報告、医薬品医療機器等安全性情報の周知を行っている。</p> <p>3) 医療安全管理委員会において、副作用症例報告を行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>1) 審査済みの未承認薬等使用時は、処方・注射オーダーリングからの入力とし、患者限定・医薬品採用願書または薬剤保管依頼書、倫理委員会審査結果通知書を医薬品情報管理室に提出する。処方鑑査時に使用状況の把握を行う。</p> <p>2) 登録状況、使用状況については、薬剤部主任会議（月1回開催）で報告を受けている。</p> <p>・担当者の指名の有無（有）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤主任） （所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師 ） （所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師 ） （所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 <p>：診療録管理委員会での遵守状況の確認、指導及び医療安全管理委員会との情報共有</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・主に手術記録、退院時要約、インフォームド・コンセントに関する記録、カウンターサイン実施状況等を日常的に確認し、記載に不備が認められた場合に担当医へ指導を実施。記載が不十分な事例については、診療録管理委員会を通じて、各部署に周知を依頼。 ・卒後臨床研修医入職時のオリエンテーションにおいて、入院診療計画書及び退院時要約の作成に関する講義を担当。 ・多職種による診療記録の質的監査を年2～3回実施。監査結果を診療録管理委員会へ報告するとともに主治医へのフィードバックを実施。 	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従（5）名、専任（0）名、兼任（8）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名 <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定 医療事故発生時における記録等の確認及び指導並びに患者家族への対応状況の確認及び指導 医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項 医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること 肺血栓塞栓症予防策の実施状況及び全死亡例のモニタリングに関すること インフォームド・コンセントの適切な実施に関すること その他医療の安全管理に係る連絡調整及び医療安全対策の推進に関すること <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識に</p>	

についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（11件）、及び許可件数（11件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医療技術実施後は、実施状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）

・活動の主な内容：

未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医薬品使用時は、薬剤部内で情報共有し、当該病棟薬剤師は副作用の発現等をモニターする。使用後は、使用状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年307件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年173件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療安全管理部門に報告された事象の確認

適切に報告されているかの確認及び報告が不十分な場合の指導

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：鳥取大学医学部附属病院））

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：徳島大学病院））

・技術的助言の実施状況

①渡航外来ワクチンについては、倫理委員会にて承認を取得済みのため、今後、新規に使用される輸入ワクチンについては、未承認新規医薬品の申請をしていくことになった。

②高難度新規医療技術については、報告を求める時期・症例数について、関係学会から示されている「高難度新規医療技術の導入にあたっての基本的な考え方」を参考に院内規程により定めてはいるが、症例毎に決定する体制について今後検討することになった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

・（設置状況等）

窓口の名称 医療安全相談室（「医療安全相談室」を窓口に明記）

相談日及び相談時間帯 平日8：30～17：15（相談依頼者の意向を考慮）

責任者の氏名及び職種 本田孝行：病院長

対応職員の氏名、部署及び職種 達家孝男：医療支援課長 古澤真紀：医療支援課副課長
大木晃：医療支援課主査 長橋英里：医療支援課係員

規約の整備状況 有 平成26年12月4日 改正

・（活動状況等）

・患者等への明示方法

各診療科外来、各病棟及び部門等の掲示板で明示

「外来診療案内」及び入院案内「入院のしおり」にて紹介

・相談により患者等が不利益を受けないよう適切な配慮の具体的方策

医療安全相談室（個室）で相談

対応者は客観的・中立的な立場を遵守

相談後の対応は患者等の意向を尊重

・電話、投書箱、インターネット相談の実施など相談窓口以外の相談の受付方法

※電話相談の有無、患者からの意見等の投書箱の設置の有無及び設置場所並びに力所数、
インターネットでの相談の有無を記入のこと。

電話相談 有

投書箱 設置場所：外来棟（5ヶ所）、東西病棟1階から8階、精神科病棟内、
南病棟1階・4階から6階（それぞれ1ヶ所） 計18カ所

インターネット相談 無

・解決策及び院内での対応方法

相談事例は病院長へ報告

必要に応じて医療安全管理室会議に報告・審議

関係部署と協議、必要に応じて患者等へ報告

- ・患者等へのセカンドオピニオン選択肢の推進（有）及び受入（有）

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

臨床研究支援センター 臨床研究研修会

監査委員会からの意見の表明に関する事項については、研修該当事項がない為、実施なし。

医療法施行規則改正に係る事項については、医療安全管理室主催の研修として実施。

臨床工学部 医療機器講習会

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

院内での研修実施予定は無し。

本田孝行（病院長），神田博仁（医薬品安全管理責任者）は，2019年度特定機能病院管理者研修（2回目の受講となる方対象）を2019年10月11日に受講予定である。

花岡正幸（医療安全管理責任者）は，2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年1月7日に受講予定である。

川真田樹人（医療機器安全管理責任者）は，2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年2月12日に受講予定である。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>人格が高潔で、学識に優れ、かつ、本院における医療の質と安全性を確保し、高度医療の提供及び教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、以下の要件を満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医師免許を有している者 (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 (3) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 (4) 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 <p>本学公式Webサイトに掲載</p>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 <p>本学公式Webサイトに掲載</p> 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
武田 三男	信州大学	○	学長が指名する理事	無
中山 淳	信州大学		規程に基づく役職指定	無
石塚 修	信州大学		学長が指名する本院診療科長会構成員	無
栗田 浩	信州大学		学長が指名する本院診療科長会構成員	無
大月 良則	長野県健康福祉部		学外の有識者で、長野県健康福祉部長として、地域の医療政策に関する豊富な経験と高い見識を有している者	無
島崎 謙治	政策研究大学院大学		学外の有識者で、政策研究大学院大学教授として、国の医療政策に関する豊富な経験と高い見識を有している者	無

規則第9条の2 3第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 信州大学医学部附属病院の運営に関する重要事項を審議する。 ・審議の概要の従業者への周知状況 各診療科長宛に紙媒体にて通知するとともに、電子掲示板にて周知している。 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（有） ・公表の方法 WEBによる公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（無） 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
本田 孝行	○	医師	病院長
川眞田 樹人		医師	副病院長（管理・運営、 経営、地域医療担当）
花岡 正幸		医師	副病院長（危機管理担 当）
伊藤 寿満子		看護師	副病院長（看護部長）
辻谷 重宏		事務	副病院長（事務担当）
桑原 宏一郎		医師	
田中 榮司		医師	
中澤 英之		医師	
上條 祐司		医師	
関島 良樹		医師	
下島 恭弘		医師	
駒津 光久		医師	
鷺塚 伸介		医師	病院長補佐（診療、倫理 担当）
中沢 洋三		医師	
奥山 隆平		医師	病院長補佐（教育・研究、 広報担当）
藤永 康成		医師	
小林 聡		医師	
瀬戸 達一郎		医師	
伊藤 研一		医師	
加藤 博之		医師	
本郷 一博		医師	

栗田 浩		医師	病院長補佐 (施設担当)
石塚 修		医師	病院長補佐 (評価担当)
村田 敏規		医師	
宇佐美 真一		医師	
塩沢 丹里		医師	病院長補佐 (国際化担当)
杠 俊介		医師	
今村 浩		医師	病院長補佐 (災害対策担当)
関口 健二		医師	
堀内 博志		医師	
上原 剛		医師	
大森 栄		薬剤師	薬剤部長
濱野 英明		医師	
本田 秀夫		医師	
古庄 知己		医師	
大野 康成		医師	
小泉 知展		医師	
多田 剛		医師	
松本 晶博		医師	

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）
- ・ 公表の方法
WEBによる公表
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長は、病院の管理運営に関する業務を統括する。
 - ・ 副病院長は4人以内とし、そのうち1人は看護部長をもって充て、1人は事務部担当とし、それ以外の副病院長は、病院長が指名する。
 - ・ 病院長補佐は3人以内とし、信州大学医学部附属病院規程の第16条に規定する病院診療科長会の構成員のうちから、病院長が指名する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長は、病院長の業務を補佐するとともに、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名した副病院長が、その職務を代行する。
 - ・ 病院長補佐は、病院長の求めに応じ、病院の管理運営に関する専門的事項について企画立案するとともに、当面する諸課題その他病院長が必要と認める事項について助言等を行う。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
本田孝行（病院長）、神田博仁（医薬品安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者研修（2回目の受講となる方対象）を2019年10月11日に受講予定である。
花岡正幸（医療安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年1月7日に受講予定である。
川真田樹人（医療機器安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年2月12日に受講予定である。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	有
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回（H30.10. 2（火）, H31. 2. 4（月））</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医学部附属病院における医療安全管理責任者，医療安全管理室，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況について，病院長等から報告を求め，又は必要に応じて資料の提出，関係者の委員会への出席等を求め確認を行うこと。</p> <p>(2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 第1号及び第2号に掲げる業務について，その結果をホームページで公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（無）</p> <p>・ 公表の方法： 信州大学医学部附属病院のホームページ上で公開している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人 財団慈泉会相 澤病院 院長	○	医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
林 一樹	林一樹法律事 務所 弁護士		法律に関する 識見を有する者	無	1
池田 秀敏	信州大学 経法学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
根本 三代子			医療を受ける者	無	2
田中 榮司	信州大学 医学部長		医療に関する 学識経験者	有	1

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
内部監査室において、当該年度の病院を含む各組織の業務に関し、監事による監査と連携し、監査を実施している。
- ・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
WEBによる公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>国立大学法人信州大学病院業務監督委員会を設置し、次に掲げる事項について、点検・監督を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営状況に関する事。 (2) 予算及び決算に関する事。 (3) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事。 (4) 人事計画に関する事。 (5) 学長が必要と認めた事項に関する事。 (6) その他病院の管理運営に関する重要事項に関する事。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体の実施状況（年6回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有）（年6回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有） ・ 公表の方法 WEBによる公表
--

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人信州大学病院業務監督委員会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
濱田 州博	学長	○	無
本田 孝行	医学部附属病院長		有
川真田 樹人	副病院長（管理・運営，経営，地域医療担当）		有
伊藤 寿満子	副病院長（看護部長）		有
内川 俊行	副病院長（事務担当）		有
武田 三男	理事（経営企画，総務，情報担当）		無
小宮山 啓太郎	理事（財務，環境施設担当）		無
樋口 聰	副学長（特命戦略担当）		無
中山 淳	医学部長		有
金井 康雄	経営企画部長		無
東間 美博	総務部長		無
南 博徳	財務部長		無
南保 政弘	環境施設部長		無
清澤 研道	相澤病院		無
西垣 明子	長野県松本保健福祉事務所		無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）・ 通報件数（年0件）・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）・ 周知の方法：医療安全管理マニュアル，病院オールメール（年2回），業務端末に掲載

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年2月審査 平成26年5月評価の認定（更新） 日本医療機能評価機構 令和元年6月審査 令和元年評価の認定（更新予定で追加確認中）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院や各診療部署にホームページを公開し、様々な情報を発信している。 地域住民などを対象とする市民公開講座や研修会を毎年開催している。 大学医学部に設置された地域保健推進センターと連携して、地域住民を対象とした研修や、啓発活動を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 信州がんセンターは、化学療法、放射線治療および緩和医療の専門医を終結し、集学的かつ臓器横断的ながん診療をおこなっている。また信州がんセンターが中心となって、月に1回がん診療に携わる各診療科医師や医療スタッフが参集しカンサーボードを実施している。 先端心臓血管病センターおよび呼吸器センターは、それぞれ内科、外科が連携して先端医療を提供している。 胸痛センターは、高度救命救急センターと心臓血管外科が連携して循環器救急医療を提供している。	

(様式第 8)

信大病総第 9108 号
令和元年 10 月 3 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人信州大学長
濱田 州

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画につ

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

本田孝行（病院長）、神田博仁（医薬品安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者研修（2回目の受講となる方対象）を2019年10月11日に受講予定である。

花岡正幸（医療安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年1月7日に受講予定である。

川真田樹人（医療機器安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年2月12日に受講予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（5）名、専任（0）名、兼任（8）名
うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名
うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医療安全管理部門に必要な専従職員の配置は終了した。今後、技師等の専従職員の配置を検討する。